

# CITIZEN

## OPOS DRIVER 1.14

### セットアップガイド

Ver. 1.14.1.9 用

シチズン・システムズ株式会社

## 更新履歴

年月日	バージョン	履歴
2011/02/10	1.00	新規
2011/04/05	1.01	「Windows ドライバーのインストール」の注意事項修正
2011/08/19	1.13.1.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バージョンの付け方をドライバー本体のバージョンに合わせた</li> <li>・インストール構成にリリース情報ファイルを追加</li> <li>・プリンターの詳細設定に「Write バッファ」と「印字完了を確認」設定を追加</li> <li>・メモリスイッチ設定表に「PNE 時 PE 出力=無効」を追加</li> </ul>
2011/10/07	1.13.1.3	・ツールメニューにログ設定を追加
2011/11/14	1.13.1.4	・バージョン番号のみ更新
2011/12/27	1.13.1.5	・バージョン番号のみ更新
2012/02/10	1.13.1.6	・バージョン番号のみ更新
2012/03/12	1.13.1.8	・バージョン番号のみ更新
2012/04/12	1.13.2.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Windows ドライバーのインストール」にパラレル接続時の説明を追加</li> <li>・ファイル構成を変更</li> </ul>
2012/06/07	1.13.2.1	・バージョン番号のみ更新
2012/08/10	1.13.2.2	・バージョン番号のみ更新
2012/09/25	1.13.2.3	・SetBitmap モードに「NV(キーコード使用)」を追加
2013/05/22	1.13.2.4	・バージョン番号のみ更新
2014/01/17	1.13.2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象オペレーティングシステムに Windows8/8.1 を追加</li> <li>・機種追加(CT-S281BT/BD)に伴う修正</li> </ul>
2014/07/24	1.13.2.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機種追加(CT-S401)に伴う修正</li> <li>・インストール構成のライブラリファイルを変更</li> <li>・コードページに 936 を追加</li> </ul>
2015/02/24	1.13.2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機種追加(CT-S251,CT-S601II/651II/801II/851II)に伴う修正</li> <li>・ビットマップ設定に「グレースケール」を追加</li> </ul>
2015/05/14	1.13.2.8	・バージョン番号のみ更新
2017/02/10	1.13.2.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象オペレーティングシステムに Windows10 を追加</li> <li>・機種追加(CT-S253)に伴う修正</li> </ul>
2017/06/15	1.13.2.11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機種追加(CT-S255)に伴う修正</li> <li>・「プリンター設定」の設定表現を更新</li> </ul>
2018/08/22	1.14.1.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応機種から CD-S500 と CT-S310 を削除</li> <li>・周辺機器の対応モデルにラインディスプレイ、バーコードスキャナーを追加</li> </ul>
2018/11/16	1.14.1.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応インターフェース追加(IF2-BT03 と IF2-BT04)に伴う修正</li> <li>・デフォルトインストールフォルダーの説明を追加</li> </ul>
2018/12/27	1.14.1.2	・機種追加(CT-S257、BC-NL30000U)に伴う修正
2019/02/05	1.14.1.3	・機種追加(CT-S4500)に伴う修正
2020/04/20	1.14.1.4	・機種追加(PMU3300)に伴う修正
2020/12/09	1.14.1.5	・機種追加(CT-S255-L)に伴う修正
2021/05/14	1.14.1.6	・機種追加(CT-E301、CT-E601)に伴う修正
2022/08/26	1.14.1.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象オペレーティングシステムに Windows11 を追加</li> <li>・機種追加(CT-S281II)に伴う修正</li> </ul>
2023/11/17	1.14.1.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機種追加(CT-S801III/851III)に伴う修正 (5, 6, 9, 20, 70 頁)</li> <li>・機種追加(DSP01-LT2、DSP02-LS2)に伴う修正 (9 頁)</li> </ul>
2025/02/05	1.14.1.9	・バージョン番号のみ更新

## ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、事前の予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 上記に同意いただけない場合は、本ドライバーをご使用いただけません。

## 商標

Microsoft、Windows、Visual Studio、Visual Basic、Visual C++ は、米国 Microsoft Corporation（あるいは米国マイクロソフト・コーポレーション）の米国およびその他の国における登録商標です。（Windows の正式名称は Microsoft Windows Operating System です）

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

CITIZEN は、シチズン時計株式会社の登録商標です。

## 目 次

<b>1. 動作環境</b>	<b>5</b>
1.1. 対象オペレーティングシステム	5
1.2. 対象モデル(プリンター)	5
1.3. 対象モデル(周辺機器)	9
<b>2. インストール</b>	<b>11</b>
2.1. インストール手順	11
2.2. インストール構成	14
2.3. アンインストール	15
<b>3. OPOSドライバー設定ツール</b>	<b>16</b>
3.1. 新規プリンター・キャッシュドローワーの追加	17
3.2. 新規キャッシュドローワーの追加	28
3.3. 新規ラインディスプレイの追加	29
3.4. 新規バーコードスキャナーの追加	36
3.5. 論理デバイスの追加	43
3.6. デバイスの削除	44
3.7. デバイスのテスト	52
3.8. ツールメニュー	56
3.9. ヘルプメニュー	58
<b>4. プリンター設定</b>	<b>59</b>
4.1. CT-E301 系	59
4.2. CT-E601 系	60
4.3. CT-S251 系	61
4.4. CT-S253 系	62
4.5. CT-S255 系	63
4.6. CT-S257 系	64
4.7. CT-S281 系	65
4.8. CT-S281II 系	66
4.9. CT-S401 系	67
4.10. CT-S601/651/801/851 系	68
4.11. CT-S601II/651II/801II/851II 系	69
4.12. CT-S801III/851III 系	70
4.13. CT-S2000 系	71
4.14. CT-S4000 系	72
4.15. CT-S4500 系	73
4.16. PMU3300 系	74
<b>5. バーコードスキャナー設定</b>	<b>75</b>
5.1. SCNO1-Z1D	75
5.2. SCNO1-Z2D	75
5.3. BC-NL3000U	76

# 1. 動作環境

## 1.1. 対象オペレーティングシステム

本ドライバーは以下の Microsoft Windows オペレーティングシステムに対応しています。

- Windows XP
- Windows Vista
- Windows 7
- Windows 8 / 8.1
- Windows 10
- Windows 11

## 1.2. 対象モデル(プリンター)

本ドライバーのプリンターの対象モデルおよびそのモデルに対応するインターフェースは以下の通りです。

各モデルの機能詳細についてはプリンターの取扱説明書をご参照ください。

モデル系列	対象モデル	インターフェース	プリンター機能
CT-E301 系	CT-E301	シリアル, USB, Ethernet	標準
CT-E601 系	CT-E601	シリアル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準
CT-S251 系	CT-S251	シリアル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準
CT-S253 系	CT-S253	シリアル, USB, Ethernet	標準
CT-S255 系	CT-S255	シリアル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準
	CT-S255-L		ブラックマーク/ラベル紙対応
CT-S257 系	CT-S257	シリアル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準
CT-S281 系	CT-S281/281BT/281BD	シリアル, USB, Bluetooth	標準
	CT-S281-XL-M1	シリアル, USB	ブラックマーク紙対応
	CT-S281-XL		ラベル紙対応
CT-S281II 系	CT-S281II	シリアル, USB	標準
	CT-S281II-L		ブラックマーク/ラベル紙対応
CT-S401 系	CT-S401	シリアル, USB, Ethernet	標準
CT-S601/651/ 801/851 系	CT-S601/651/801/851	シリアル, パラレル, USB, Ethernet	標準
	CT-S801/851-M		ブラックマーク紙対応
	CT-S801-L		ラベル紙対応
CT-S601II/651II/ 801II/851II 系	CT-S601II/651II/801II/851II	シリアル, パラレル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準
	CT-S801II/851II-M		ブラックマーク紙対応
	CT-S801II-L		ラベル紙対応
CT-S801III /851III 系	CT-S801III/851III	シリアル, パラレル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準
CT-S2000 系	CT-S2000	シリアル, パラレル, USB, Ethernet	標準
	CT-S2000-M		ブラックマーク紙対応
	CT-S2000-L		ラベル紙対応
CT-S4000 系	CT-S4000	シリアル, パラレル, USB, Ethernet	標準(表面ブラックマーク紙対応)
	CT-S4000-M		裏面ブラックマーク紙対応
	CT-S4000-L		ラベル紙対応

CT-S4500 系	CT-S4500	シリアル, USB, Ethernet, Bluetooth	標準 (ブラックマーク/ラベル紙対応)
PMU3300 系	PMU3300	シリアル, USB	標準 (用紙出口センサー対応)

### USB インターフェース接続について

本ドライバーを USB インターフェース接続にてご使用になる際は、プリンタードライバのインストールを行う必要があります。尚、プリンターの USB モードの設定により、インストールを行うドライバーの種類が異なります。

#### 1) USB モードがプリンタークラスの場合

Windows ドライバーのインストールを行います。Windows ドライバー上で指定された USB インターフェースポート (Virtual printer port for USB) を、OPOS ドライバー側で指定します。

#### 2) USB モードが仮想 COM (Virtual COM) の場合

仮想 COM ドライバーのインストールを行います。仮想 COM ドライバー上で指定されたシリアルインターフェースポートを、OPOS ドライバー側で指定します。

### パラレルインターフェース接続について

端末とプリンターがパラレルインターフェースで接続されていると、毎回端末を立ち上げた際にプリンタードライバのインストールを要求するインストールウィザードが起動することがあります。このインストールウィザードを起動させないためには、Windows ドライバーのインストールを行ってください。

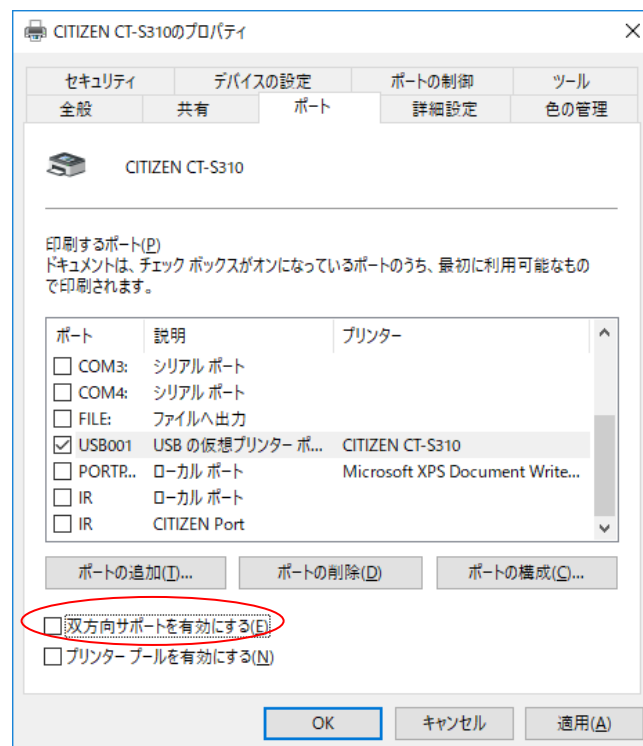
### Windows ドライバーのインストール

各モデルに対応する Windows ドライバーは以下の通りです。Windows ドライバーのインストール方法については、Windows ドライバーに付属の「Windows ドライバーガイド」をご参照ください。

対象モデル	Windows ドライバー名	プリンター機能
CT-E301	CITIZEN CT-E301	標準
CT-E601	CITIZEN CT-E601	標準
CT-S251	CITIZEN CT-S251	標準
CT-S253	CITIZEN CT-S253	標準
CT-S255	CITIZEN CT-S255	標準
CT-S255-L	CITIZEN CT-S255 Label	ブラックマーク/ラベル紙対応
CT-S257	CITIZEN CT-S257	標準
CT-S281/281BT/281BD	CITIZEN CT-S281	標準
CT-S281-XL-M1	CITIZEN CT-281 Label	ブラックマーク紙対応
CT-S281-XL	CITIZEN CT-281 Label	ラベル紙対応
CT-S281II	CITIZEN CT-S281II	標準
CT-S281II-L	CITIZEN CT-S281II Label	ブラックマーク/ラベル紙対応
CT-S401	CITIZEN CT-S401	標準
CT-S601/651/801/851	CITIZEN CT-S601/651/801/851	標準
CT-S801/851-M	CITIZEN CT-S801/851 Black Mark	ブラックマーク紙対応
CT-S801-L	CITIZEN CT-S801 Label	ラベル紙対応
CT-S601II/651II/801II/851II	CITIZEN CT-S601II/651II/801II/851II	標準
CT-S801II/851II-M	CITIZEN CT-S801II/851II Black Mark	ブラックマーク紙対応
CT-S801II-L	CITIZEN CT-S801II Label	ラベル紙対応
CT-S801III/851III	CITIZEN CT-S801III/851III	標準
CT-S2000	CITIZEN CT-S2000	標準
CT-S2000-M	CITIZEN CT-S2000 Label	ブラックマーク紙対応

CT-S2000-L	CITIZEN CT-S2000 Label	ラベル紙対応
CT-S4000	CITIZEN CT-S4000	標準(表面ブラックマーク紙対応)
CT-S4000-M	CITIZEN CT-S4000 Label	裏面ブラックマーク紙対応
CT-S4000-L	CITIZEN CT-S4000 Label	ラベル紙対応
CT-S4500	CITIZEN CT-S4500	標準(ブラックマーク/ラベル紙対応)
PMU3300	CITIZEN PMU3300	標準(用紙出口センサー対応)

※ 本ドライバーは、Windows ドライバーのプリンターの状態を確認できるステータス機能(ランゲージモニター)との併用はできません。本ドライバーをご使用の際は、**ステータス機能なしの Windows ドライバーをインストールするか、Windows ドライバーのポート設定の「双方向サポートを有効にする」のチェックを外してください**(変更を有効にするためにはコンピュータの再起動が必要です)。



パラレル接続の場合、Windows のスプーラーが Windows ドライバーを経由して常時プリンターと接続した状態になっています。OPOS ドライバーがプリンターと接続する時(ClaimDevice メソッドを実行する時と DeviceEnabled に TRUE を書き込む時)、一時的にプリンターの接続先を変更し、接続後に元に戻す処理を行います。この処理には時間がかかります。Windows ドライバーを使用しない場合は Windows ドライバーの出力先ポートを“FILE:”に変更しておくことで、接続にかかる時間を短縮することができます(上の図で、「印刷するポート」一覧の中から選びます)。

### USB 仮想 COM(USB Virtual COM)ドライバーのインストール

各モデルに対応する仮想 COM ドライバーをインストールします。仮想 COM ドライバーのインストール方法については、仮想 COM ドライバーに付属の「仮想 COM ドライバーインストールガイド」をご参照ください。

尚、各モデルの USB 仮想 COM モードの対応状況は下表の通りです。

モデル名	仮想 COM モード対応状況	ポート名(ポート番号)
CT-E301	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-E601	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)

CT-S251	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S253	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S255	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S255-L		
CT-S257	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S281/281BT/281BD	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S281-XL-M1		
CT-S281-XL		
CT-S281II	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S281II-L		
CT-S401	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S601/651/801/851	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S801/851-M		
CT-S801-L		
CT-S601II/651II/801II/851II	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S801II/851II-M		
CT-S801II-L		
CT-S801III/851III	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
CT-S2000	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM8)
CT-S2000-M		
CT-S2000-L		
CT-S4000	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM8)
CT-S4000-M		
CT-S4000-L		
CT-S4500	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)
PMU3300	対応	Ctvrcom Virtual Communication Port (COM7)



### 1.3. 対象モデル(周辺機器)

本ドライバーの周辺機器の対象モデルは以下の通りです。

周辺機器は、USB ホスト機能付きの Network または Bluetooth インターフェース、または直接 PC に接続して使用します。各モデルの機能詳細については周辺機器の取扱説明書をご参照ください。

#### ラインディスプレイ

対象モデル	仕様
DSP01-LT/DSP01-LT2	TFT 型ラインディスプレイ
DSP02-LS/DSP02-LS2	STN 型ラインディスプレイ

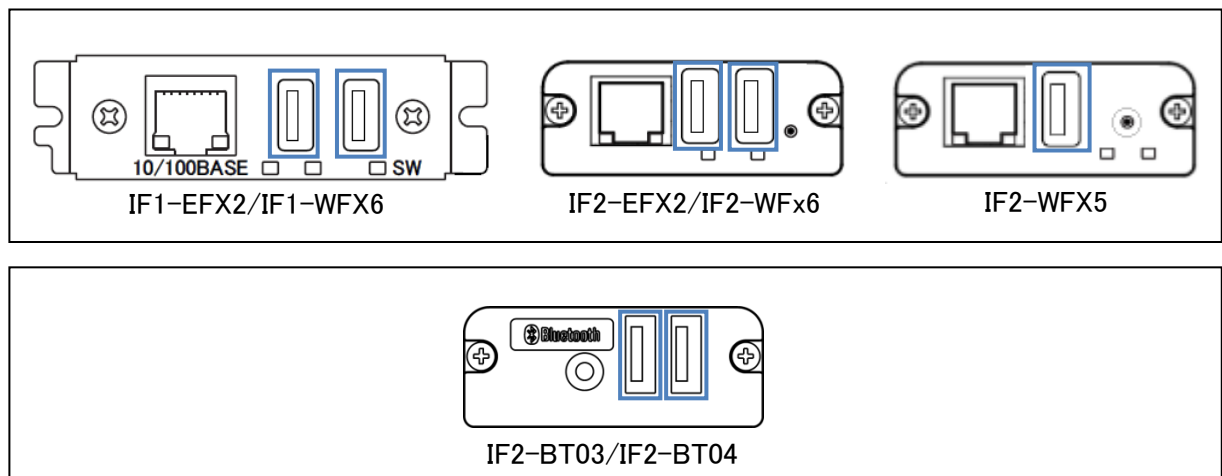
#### バーコードスキャナー

対象モデル	仕様
SCN01-Z1D	1 次元バーコードスキャナー
SCN02-Z2D BC-NL3000U	2 次元バーコードスキャナー

※本ドライバーで使用する際は、「[5.バーコードスキャナー設定](#)」に記載の設定が必要です

#### プリンターに接続して使用する場合

対象周辺機器の接続は、プリンター電源を一旦 OFF にしてから、下図に示す Network または Bluetooth インターフェースの USB 端子に接続してご利用ください。その後、プリンター電源を ON にしてから、対象周辺機器が利用可能になるまで、安定動作のため、周辺機器の制御開始処理を 30 秒ほど待機してから実行してください。



以下は、周辺機器接続に関する「禁止事項」です。

- 対応周辺機器以外(USB ハブやスマートフォン等)をインターフェースの USB 端子に接続
- プリンター電源が ON のまま、インターフェースの USB 端子から周辺機器のケーブルを挿抜
- 同種の周辺機器をインターフェースの USB 端子に複数接続 (例:ディスプレイを 2 台接続)

もし、上記事項を実施された場合、プリンターや接続周辺機器について、誤動作を招く原因や、最悪、故障の原因となりますので、おやめください。

## Network インターフェース設定について

Network インターフェースにラインディスプレイおよびバーコードスキャナーを使用する場合、サービスに関する設定を変更する必要があります。基本的な操作につきましては、プリンターのインターフェースボード取り扱い説明書をご参照ください。

Web ブラウザーから各プリンターに接続して、以下の Service 画面を表示して下さい。プリンターが提供するサービスの設定を行います。

LAN board CITIZEN SYSTEMS

HOME | STATUS | CONFIG Logout

General **Service** User Account Maintenance

**Media Converter**

VCOM Convert ☒ Enable ☐ Disable ☐ Show configuration

HID Scanner Convert ☐ Enable ☒ Disable ☐ Show configuration

**XML Print**

Port Number

Timeout for connect  5-60[Seconds]

Timeout for print  10-600[Seconds]

**XML Device Control**

Port Number

Timeout for connect  5-180[Seconds]

Max connection

**XML Device Control / Line Display**

Baud rate  ▼

Data  ▼

Parity  ▼

Stop  ▼

上記赤枠内を参照に、VCOM Converter の Enable を選択します。

その後、最下部までスクロールし「Submit」ボタンを押します。

最後に「Maintenance」タブの「Save&Reboot」ボタンを押し、「Yes」を選択し、プリンターから音が鳴ると設定完了です。

上記赤枠内の「Show configuration」にチェックを入れると「Media Converter Configuration / VCOM Convert」の設定画面が表示されますが、既に対応ディスプレイに対して適切値になっているので、通常利用では変更しないでください。

各設定値は、電源を切断しても値を保持します。工場初期設定(Factory Default)の処理が行われた時には、各設定値を初期値に設定します。

## PC に直接接続して使用する場合

各モデルに対応する仮想 COM ドライバーをインストールしてください。

仮想 COM ドライバー上で指定されたシリアルインターフェースポートを、OPOS ドライバー側で指定します。

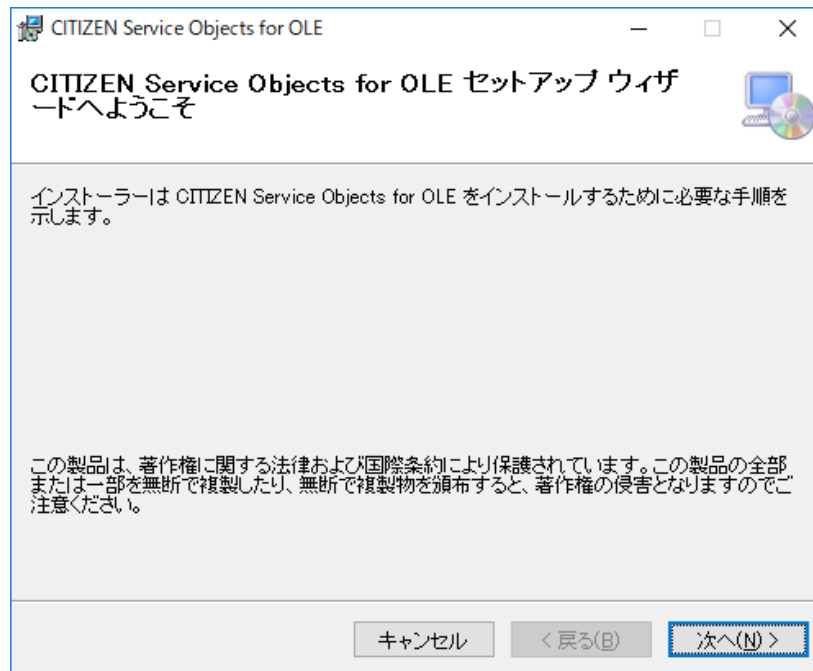
## 2. インストール

### 2.1. インストール手順

本ドライバーのインストール手順について説明します。

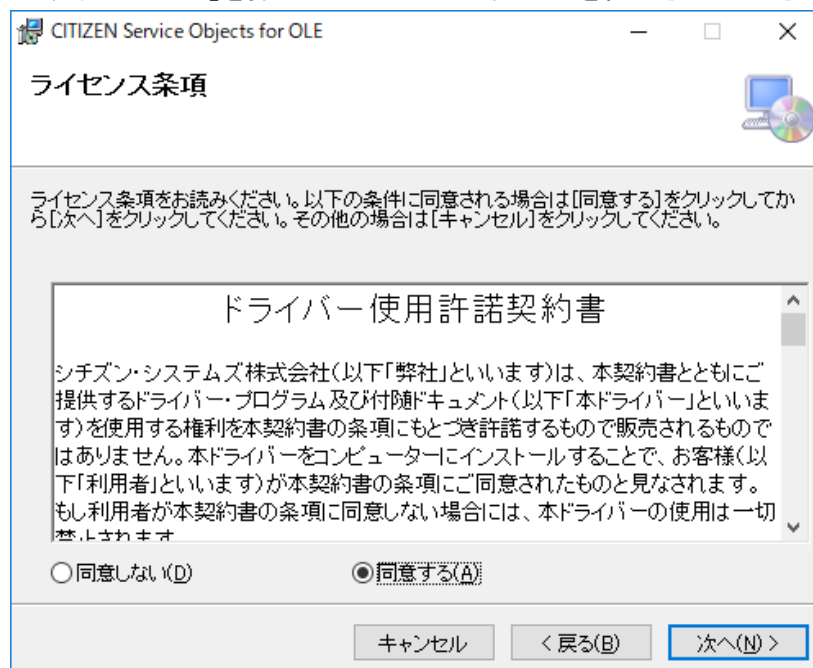
インストールを行う前に必ず起動中のアプリケーションを全て終了させてください。

- 1) CSJ\_OPOS\_JA\_Vxxx.msi (インストーラー、xxx はバージョン) を起動してください。  
セットアップ ウィザードが起動します。「次へ」を押下してください。



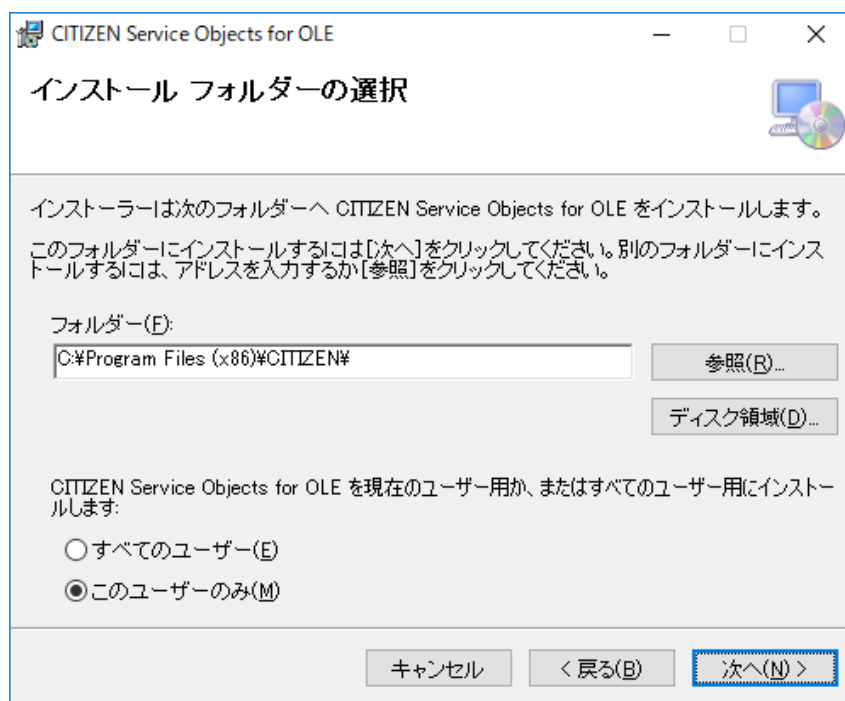
- 2) 「ライセンス条項」のウィンドウが表示されます。

使用許諾契約書に同意頂ければ、「同意する」を選択し「次へ」を押下してください。使用許諾契約書に同意頂けない場合は、「同意しない」を押下しセットアップウィザードを終了させてください。

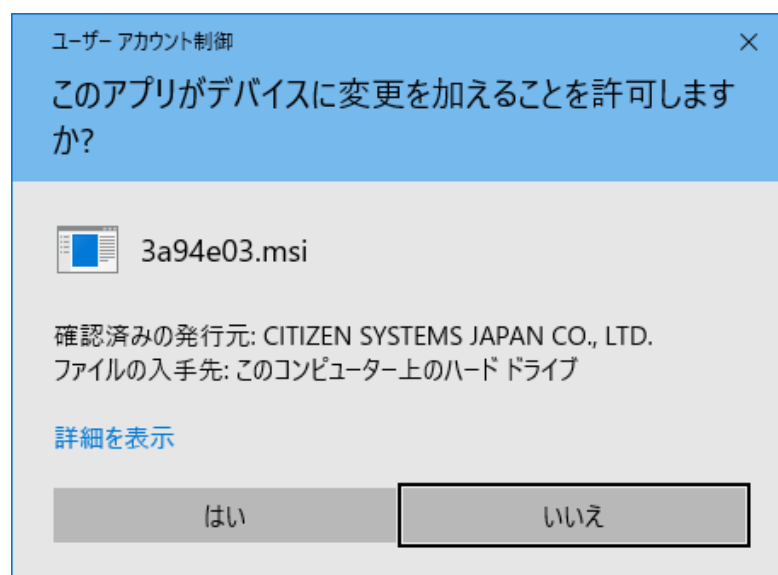


- 3) 「インストール フォルダーの選択」のウィンドウが表示されます。

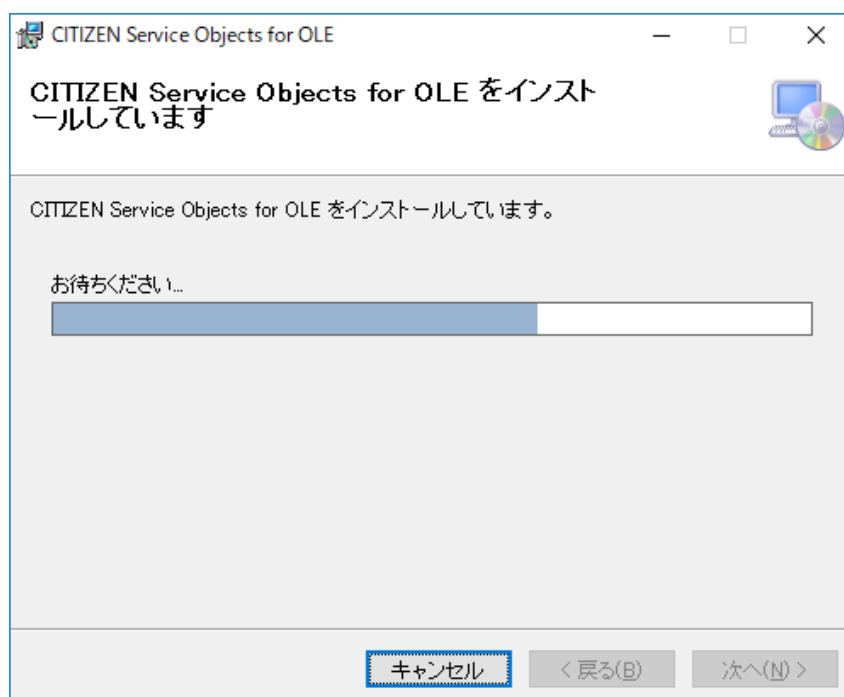
インストールするディレクトリを指定します。デフォルトのインストール先を変更しない場合は、「次へ」を押下してください。デフォルトのインストール先を変更する場合は、インストール先のフォルダーを指定してください。



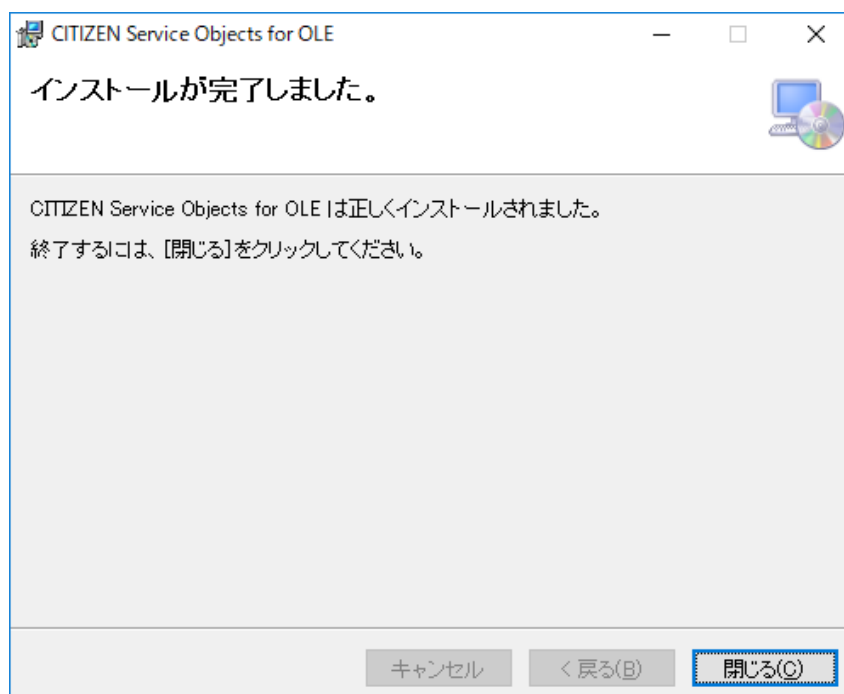
- 4) Windows Vista やそれ以降のバージョンでは、次の様な「ユーザーアカウント制御」ダイアログが起動しますので、「はい」を押下してください。



- 5) インストールの進捗状況のウィンドウが表示されます。  
(端末の環境やスペックによりインストールに掛かる時間が長くなることがあります)



- 6) インストールに成功すると「インストールが完了しました。」のウィンドウが表示されます。  
「閉じる」を押下してください。



## 2.2. インストール構成

本ドライバーのインストールファイルについて説明します。

” インストールフォルダー” ¥CITIZEN¥CITIZEN Service Object

— BcWidth. DLL	: サービスオブジェクト用拡張ライブラリ
— CBMSocketMon. DLL	: Ethernet インターフェース接続用ソケットモニタ
— CBMPortMon. DLL	: ポートモニタ
— CSJTS0. DLL	: サービスオブジェクト
— ConfigurationUtility. EXE	: ドライバー設定ツール
— ConfigurationUtility. EXE.manifest	: 上記のマニフェストファイル
— Japanese. DLL	: ドライバー設定ツール用日本語リソース
— CSJCheckHealth. exe	: 動作テストプログラム
— MFC100. DLL	: サービスオブジェクトおよび設定ツール用ライブラリ
— MFC100CHS. DLL	
— MFC100CHT. DLL	
— MFC100DEU. DLL	
— MFC100ENU. DLL	
— MFC100ESN. DLL	
— MFC100FRA. DLL	
— MFC100ITA. DLL	
— MFC100JPN. DLL	
— MFC100KOR. DLL	
— MFC100U. DLL	
— MSVCR100. DLL	
— MSVCP100. DLL	
— OPOSCashDrawer. ocx	: キャッシュドロワーコントロールオブジェクト
— OPOSeulaJ. RFT	: ドライバー使用許諾契約書
— OPOSLineDisplay. ocx	: ラインディスプレイコントロールオブジェクト
— OPOSPOSPrinter. ocx	: プリンターコントロールオブジェクト
— OPOSScanner. ocx	: スキャナーコントロールオブジェクト
— ReleaseNotes_JP. txt	: リリース情報ファイル

※インストールフォルダーのデフォルト設定は、以下の通りです。

32bit オペレーティングシステム: C:¥Program Files¥CITIZEN¥

64bit オペレーティングシステム: C:¥Program Files (x86)¥CITIZEN¥

## 2.3. アンインストール

本製品のアンインストールについて説明します。

### システムレジストリの削除

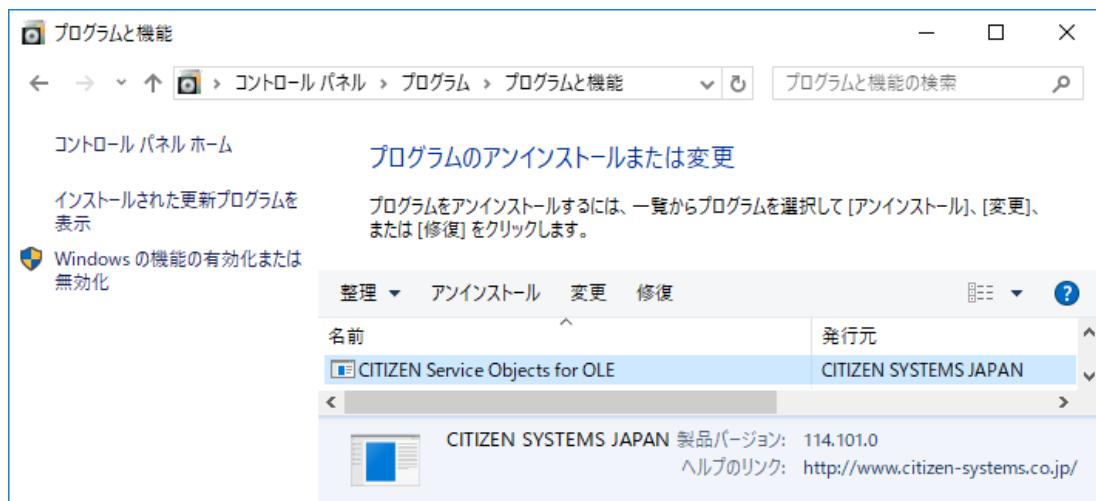
ConfigurationUtility にて物理デバイスおよび論理デバイスの削除を行います。

デバイスの削除方法については、「[3.6 デバイスの削除](#)」の章をご参照ください。

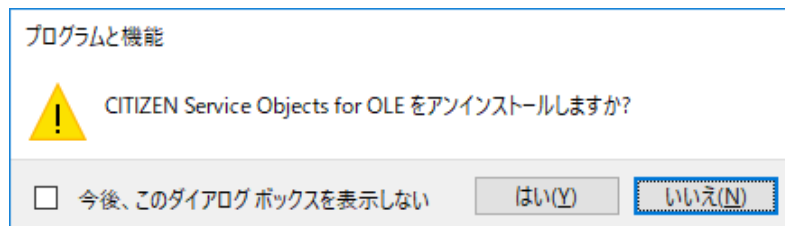
※ 本製品のバージョンアップの際は、登録済みのデバイス設定を残すことをお勧めします

### OPOSドライバーの削除

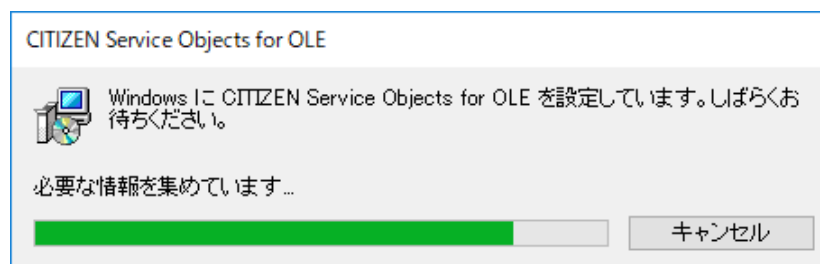
- 1) 「コントロールパネル」-「プログラム」-「プログラムと機能」の一覧より「CITIZEN Service Objects for OLE」を選択し、「アンインストール」を押下してください。



- 2) 「プログラムと機能」のメッセージダイアログが表示されます。  
「はい(Y)」を押下してください。「いいえ(N)」を押下すると本プログラムの削除は取り消されます。



- 3) アンインストール処理の進捗を示すダイアログが表示されます。



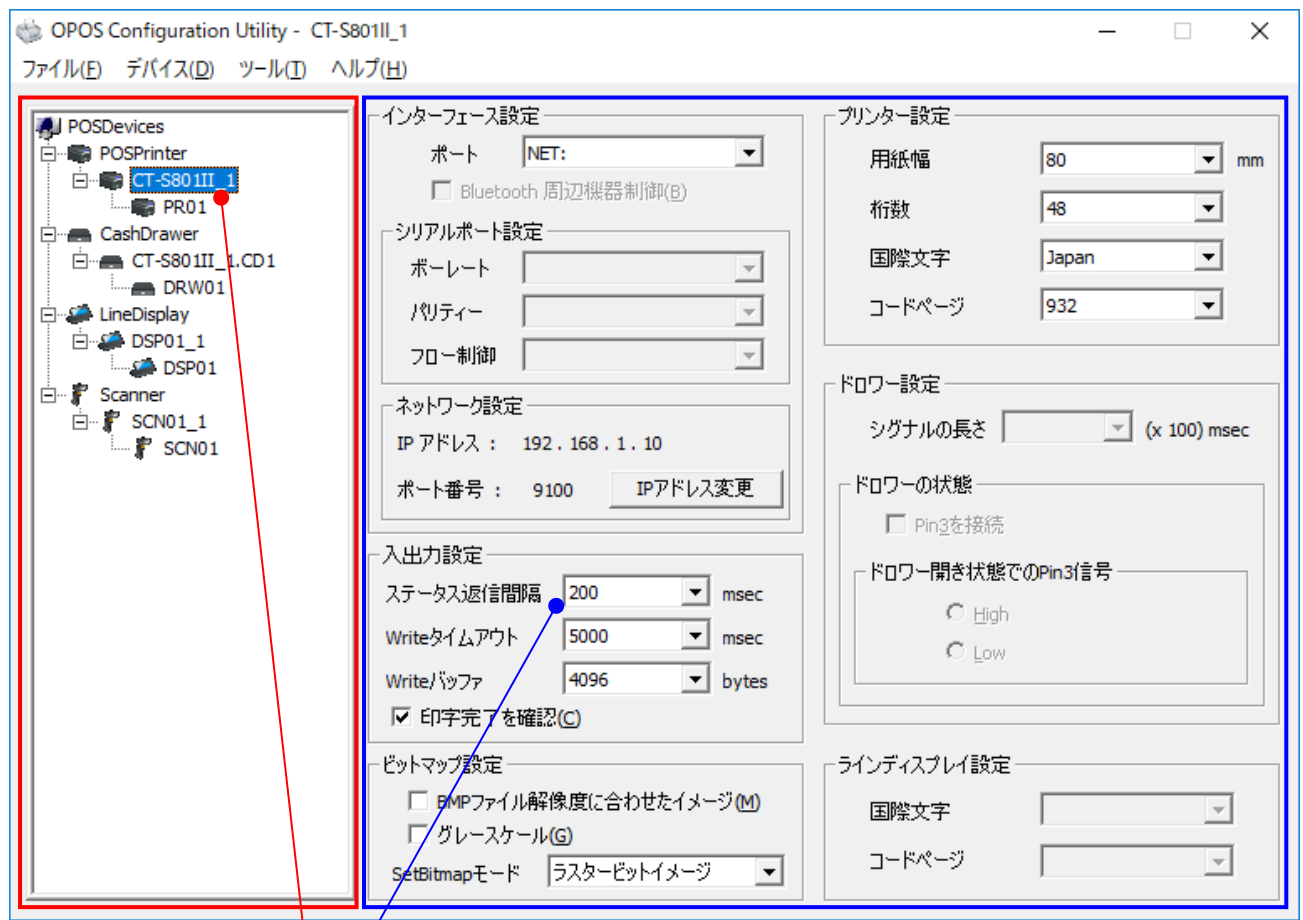
- 4) アンインストールが正常に終了すると、「プログラムと機能」の一覧より「Citizen Service Objects for OLE」が削除されます。

### 3. OPOS ドライバー設定ツール

Configuration Utility の使用方法について説明します。本ドライバーをインストールすると、Windows のスタートメニューにショートカットアイコンが登録されます。

「スタート」→「プログラム」→「CITIZEN」→「OPOS 1.14」→「OPOS Configuration Utility」

#### メインスクリーン



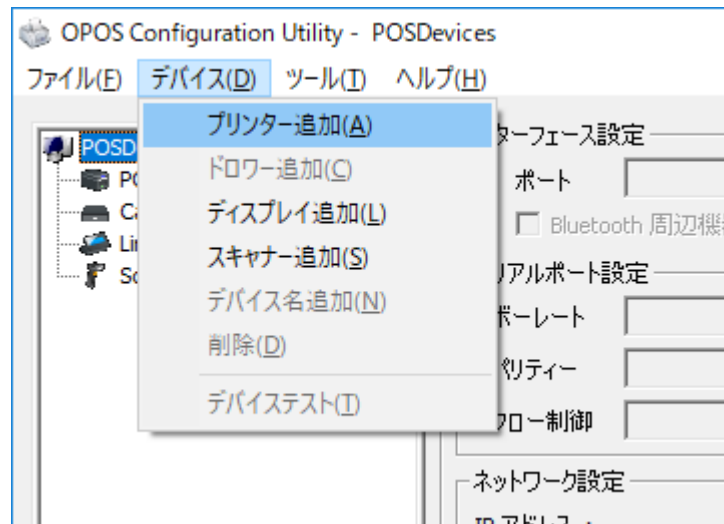
**設定ビュー:** 各デバイスの設定が表示されます (直接の設定変更が可能)

**デバイスビュー:** 物理デバイスおよび論理デバイスがツリー表示されます

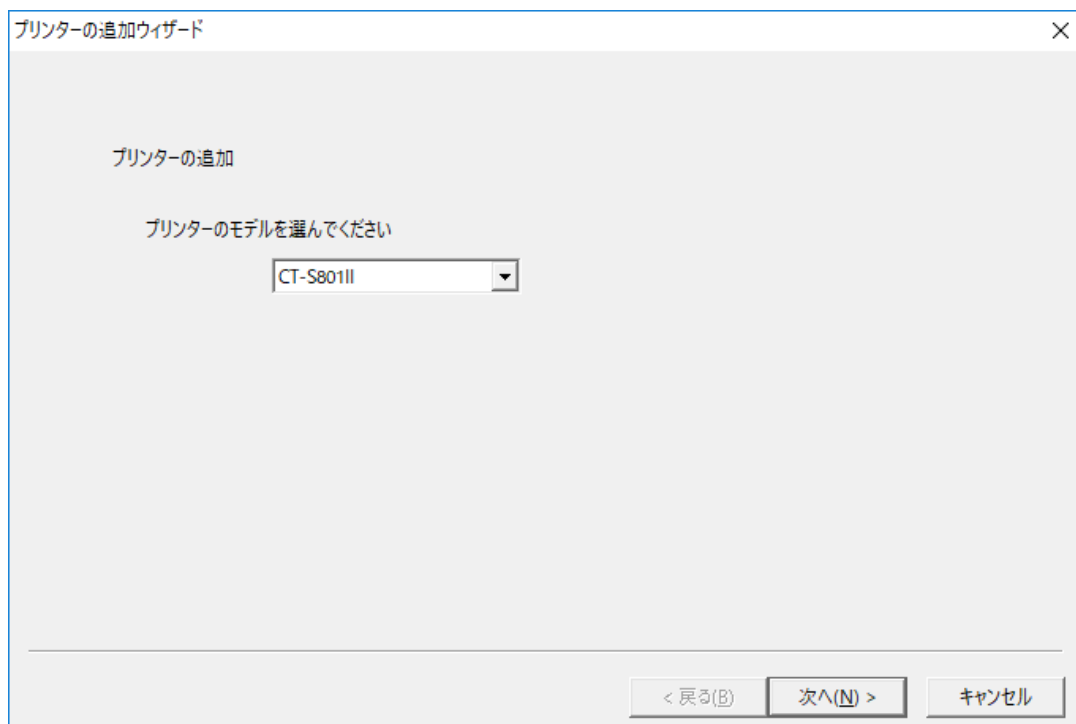


### 3.1. 新規プリンター・キャッシュドロワーの追加

- 1) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー（いずれも同じメニューが表示されます）から「プリンター追加」を押下してください。



- 2) 「プリンターの追加ウィザード」が起動します。  
追加するプリンターのモデルを選択し「次へ」を押下してください。  
(ここでは CT-801II を指定)



各プリンターの機能については、「[1. 動作環境](#)」の章をご参照ください。

- 3) 「プリンターのタイプを選んでください」のウィンドウが表示されます。

使用する用紙サイズおよび一行あたりの印字最大桁数を以下の表を参考に指定してください。

尚、本設定は” RecLineWidth / RecLineChars/ RecLineCharsList”プロパティのデフォルト値と連動します。

詳細は、本製品のアプリケーション開発ガイドをご参照ください。

### CT-E301 系

用紙幅(mm)		最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	58	30	360	30	30, 40, 45
		32	384	32	32, 42, 48
		35	420	35	35, 46, 52
		42	512	42	42, 56, 63
		48	576	48	48, 64, 72

### CT-E601 系

用紙幅(mm)		最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	58	30	360	30	30, 40, 45
		32	384	32	32, 42, 48
		35	420	35	35, 46, 52
		42	512	42	42, 56, 63
		48	576	48	48, 64, 72

### CT-S251 系

用紙幅(mm)	最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
58	30	360	30	30, 40, 45
	32	384	32	32, 42, 48
	35	420	35	35, 46, 52
	36	432	36	36, 48, 54

**CT-S253 系**

用紙幅(mm)		最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	58	30	360	30	30, 40, 45
		32	384	32	32, 42, 48
		35	420	35	35, 46, 52
		42	512	42	42, 56, 63
		48	576	48	48, 64, 72

**CT-S255 系**

用紙幅(mm)		最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	58	30	360	30	30, 40, 45
		32	384	32	32, 42, 48
		35	420	35	35, 46, 52
		42	512	42	42, 56, 63
		48	576	48	48, 64, 72

**CT-S257 系**

用紙幅(mm)		最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	58	30	360	30	30, 40, 45
		32	384	32	32, 42, 48
		35	420	35	35, 46, 52
		42	512	42	42, 56, 63
		48	576	48	48, 64, 72

**CT-S281 系**

用紙幅(mm)		最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
58		32	384	32	32, 42, 48

**CT-S281II 系**

用紙幅(mm)		最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
58		32	384	32	32, 42, 48

**CT-S401 系**

用紙幅(mm)		最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	58	30	360	30	30, 40, 45
		32	384	32	32, 42, 48
		35	420	35	35, 46, 52
		42	512	42	42, 56, 63
		48	576	48	48, 64, 72

**CT-S601/651/801/851 系**

用紙幅(mm)				最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
83	80	60	58	30	360	30	30, 40, 45
				32	384	32	32, 42, 48
				35	420	35	35, 46, 52
			36	432	36	36, 48, 54	
			42	512	42	42, 56, 64	
			48	576	48	48, 64, 72	
			53	640	53	53, 71, 80	

**CT-S601II/651II/801II/851II 系**

用紙幅(mm)				最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
83	80	60	58	30	360	30	30, 40, 45
				32	384	32	32, 42, 48
				35	420	35	35, 46, 52
				36	432	36	36, 48, 54
				42	512	42	42, 56, 64
				48	576	48	48, 64, 72
				53	640	53	53, 71, 80

**CT-801III/851III 系**

用紙幅(mm)				最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
83	80	60	58	30	360	30	30, 40, 45
				32	384	32	32, 42, 48
				35	420	35	35, 46, 52
				36	432	36	36, 48, 54
				42	512	42	42, 56, 64
				48	576	48	48, 64, 72
				53	640	53	53, 71, 80

**CT-S2000 系**

用紙幅(mm)				最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
83	80	60	58	30	360	30	30, 40, 45
				32	384	32	32, 42, 48
				35	420	35	35, 46, 52
				36	432	36	36, 48, 54
				42	512	42	42, 56, 64
				48	576	48	48, 64, 72
				53	640	53	53, 71, 80

**CT-S4000 系**

用紙幅(mm)				最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
112	82.5	80		42	512	42	42, 56, 64
				48	576	48	48, 64, 72
				55	660	55	55, 73, 82
				60	720	60	60, 80, 90
				69	832	69	69, 92, 104

**CT-S4500 系**

用紙幅(mm)				最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
112	82.5	80	58	30	360	30	30, 40, 45
				32	384	32	32, 42, 48
				35	420	35	35, 46, 52
				36	432	36	36, 48, 54
				42	512	42	42, 56, 64
				48	576	48	48, 64, 72
				55	660	55	55, 73, 82
				60	720	60	60, 80, 90
				69	832	69	69, 92, 104

**PMU3300 系**

用紙幅(mm)			最大桁数	RecLineWidth	RecLineChars	RecLineCharsList
80	60	58	30	360	30	30, 40, 45
			32	384	32	32, 42, 48
			35	420	35	35, 46, 52
			36	432	36	36, 48, 54
			42	512	42	42, 56, 64
			48	576	48	48, 64, 72

上記設定後、「次へ」を押下してください。

- 4) 「詳細設定」のウィンドウが表示されます。  
各項目の設定内容は以下の通りです。

**ステータス返信間隔**

プリンターのステータス取得のポーリング間隔を設定します。

設定範囲: 100～2000msec

**Write タイムアウト**

出力ポートに対する書き込みタイムアウト時間を設定します。

設定範囲: 5,000～1,000,000msec

**Write バッファ**

出力ポートに対する書き込みバッファサイズを設定します。

設定範囲: 0～4,096bytes

**印字完了を確認**

本設定を有効に設定することにより、メソッドの成功／失敗判定はプリンターからの印字完了応答を確認します。本設定の詳細については、本製品のアプリケーション開発ガイドをご参照ください。

**SetBitmap モード**

SetBitmap メソッドのビットイメージモードを指定します。本モードの詳細については、本製品のアプリケーション開発ガイドをご参照ください。(機種により選択内容は変わります)

設定値: ラスタービットイメージ/NV(キーコード未使用)/NV(キーコード使用)

**BMP ファイル解像度に合わせたイメージ**

本設定を有効に設定することにより、SetBitmap メソッドおよび PrintBitmap にて指定されたビットイメージを BMP ファイルの解像度に合わせて出力します。

**グレースケール**

本設定を有効に設定することにより、ビットマップ印刷方式の初期値をグレースケールにします。本設定の詳細については、本製品のアプリケーション開発ガイドをご参照ください。

**国際文字**

国際文字を指定します。

設定値: U.S.A / France / Germany / U.K. / Denmark I / Sweden / Italy / Spain I / Japan / Norway / Denmark II / Spain II / Latin America / Korea / Croatia / China / Vietnam

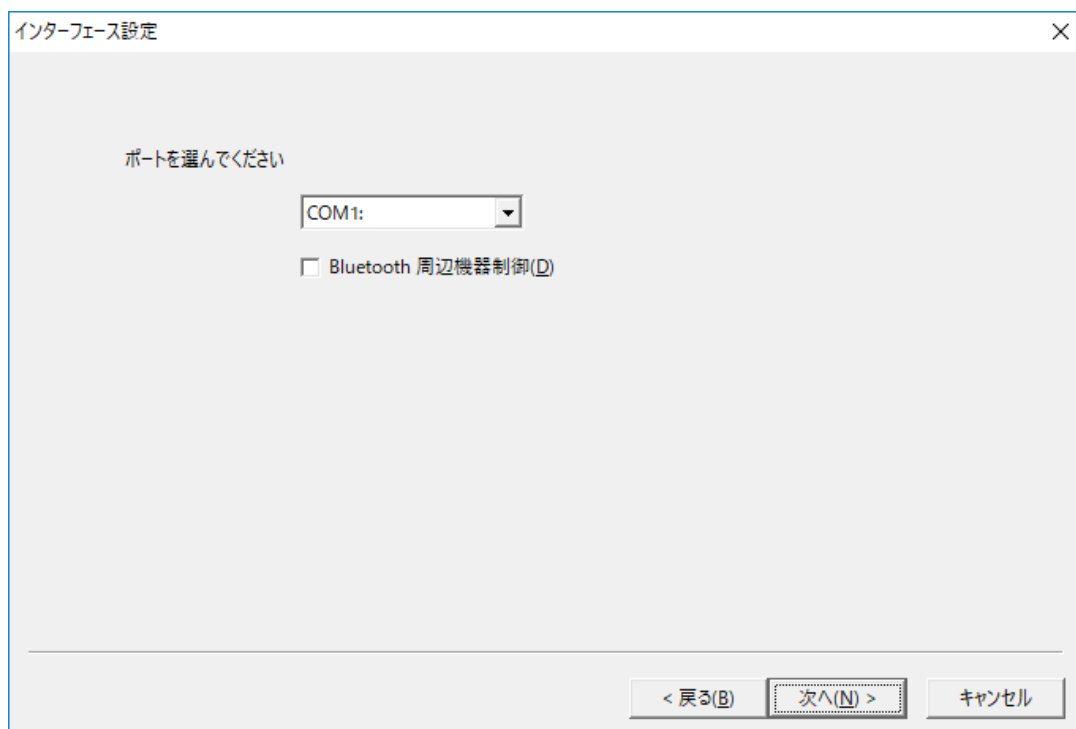
**コードページ**

コードページを指定します。(機種により選択内容は変わります)

設定値: 437 / 850 / 852 / 857 / 858 / 860 / 863 / 864 / 865 / 866 / 874 / 932 / 936 / 998 / 999 / 1252 / 1258 / User Defined

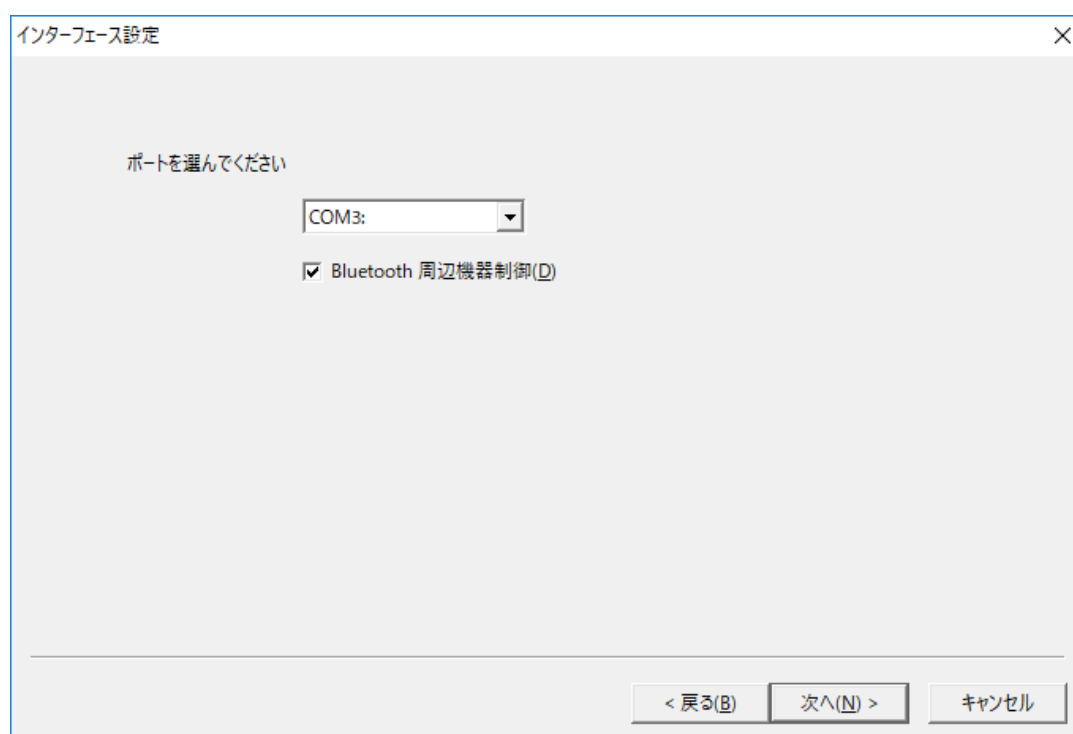
上記設定後、「次へ」を押下してください。

- 5) 「インターフェース設定」のウィンドウが表示されます。  
使用するポートを選択し、「次へ」を押下してください。



IF2-BT03/04 経由で周辺機器も使用する場合のみ、Bluetooth 周辺機器制御をチェックしてください。それ

以外の場合は、Bluetooth 周辺機器制御のチェックを外して下さい。



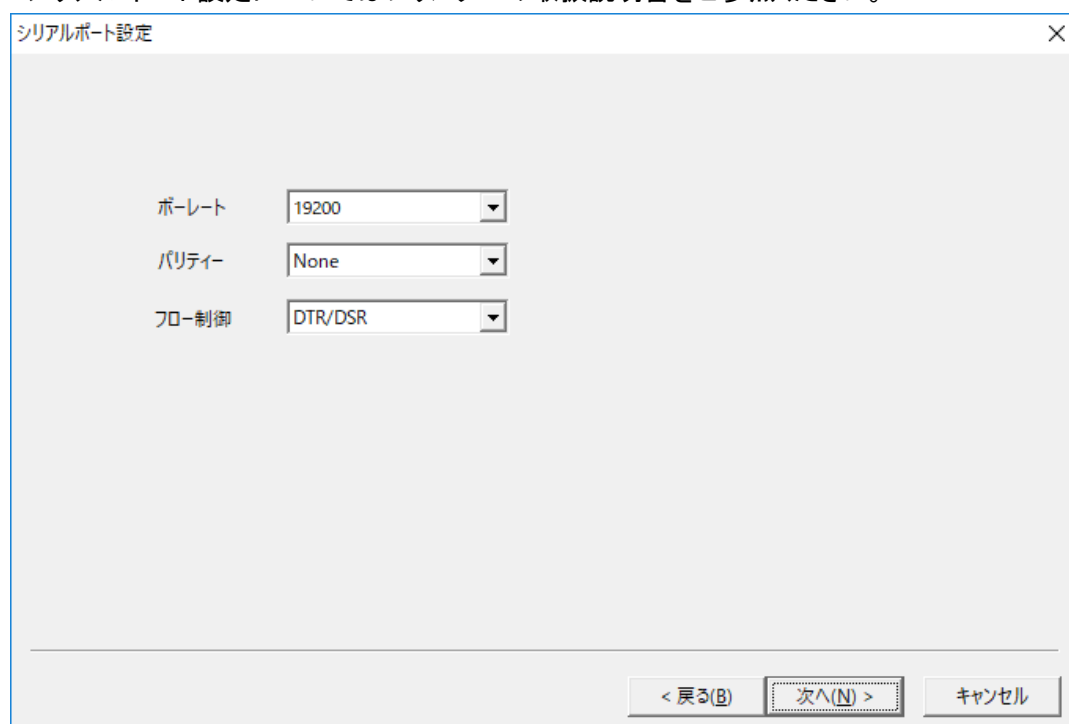
### COM ポート指定時

「シリアルポート設定」のウィンドウが表示されます。

「ボーレート」・「パリティ」・「フロー制御」を指定し、「次へ」を押下してください。

※ プリンター側のデータ長は 8 ビットに設定して下さい。

※ プリンター側と端末側のシリアルポート設定が同等でないと通信することができません。プリンターのシリアルポート設定についてはプリンターの取扱説明書をご参照ください。



**NET 指定時**

「ネットワーク設定」のウィンドウが表示されます。使用する「IP アドレス」・「ポート番号」を入力します。  
 ※プリンターネットワーク設定の「ジョブ受信タイムアウト」設定の秒数を「180」に設定することを推奨します。プリンターの設定については、「[3.8 ツールメニュー](#)」の章をご参照ください。

ネットワーク設定

IPアドレス 192 . 168 . 1 . 10

ポート番号 9100

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

上記設定後、「次へ」を押下してください。

- 6) 続いて「ドローワー追加ウィザード」が起動します。  
 プリンターに接続されたキャッシュドローワーの数を指定し、「次へ」を押下してください。

ドローワー追加ウィザード

ドローワーの追加

ドローワーの数を選んでください

☐ ドローワーなし(N)

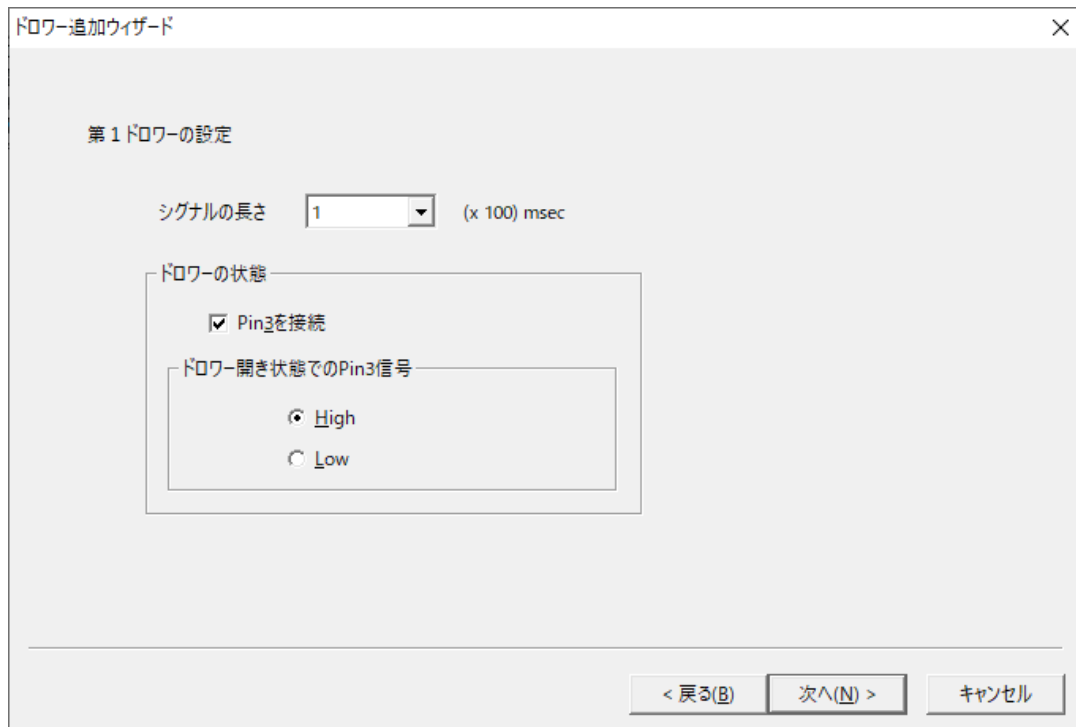
☒ ドローワー1台

☐ ドローワー2台

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル



「ドロワー1台」または「ドロワー2台」を指定した場合、「1台目のドロワー設定」のウィンドウが表示されます。



### シグナルの長さ

キャッシュドロワーのソレノイドに出力するパルス信号の時間幅を指定します。

設定範囲: 1～8 (x 100) msec

### Pin3 が接続されている

ドロワーキックコネクタの3番ピン(ドロワースイッチ入力)が接続されている場合はチェックを入れます。

### ドロワー開き状態での Pin3 信号

キャッシュドロワーが開いている状態のドロワースイッチ入力信号レベルを指定します。

設定値: High/ Low

上記設定後、「次へ」を押下してください。

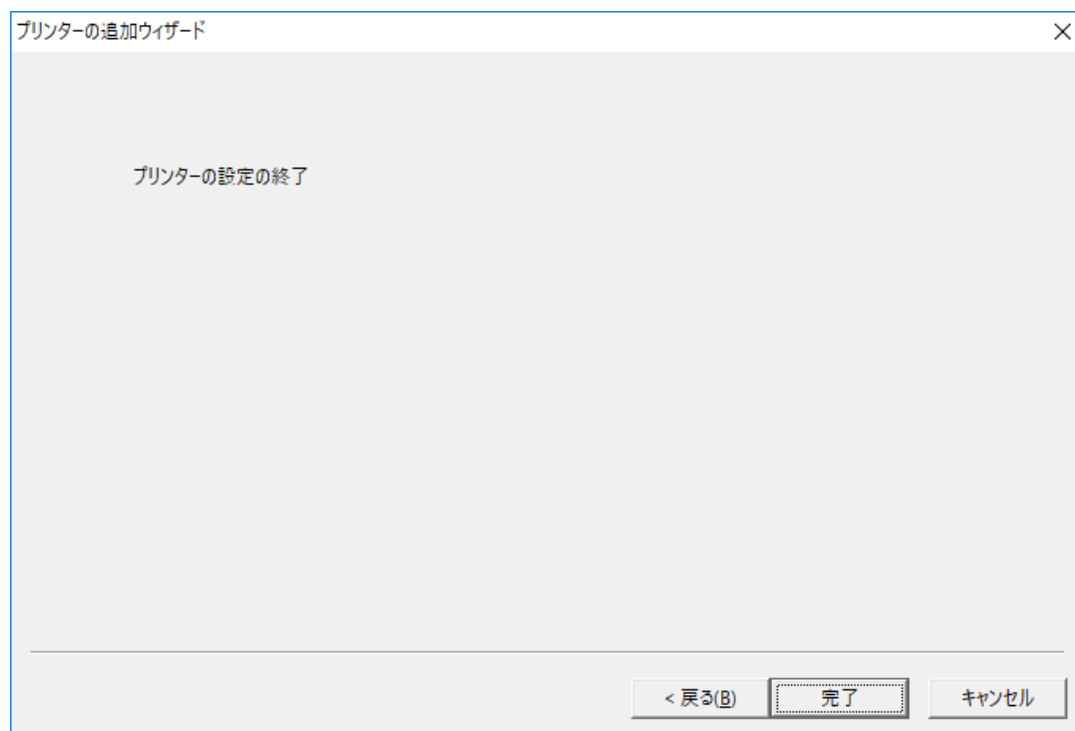
※ 「ドロワー2台」指定時に「次へ」を押下すると「2台目のドロワー設定」ウィンドウが表示されます。

上記記設定方法と同様に2台目のキャッシュドロワーの設定を行い、「次へ」を押下してください。

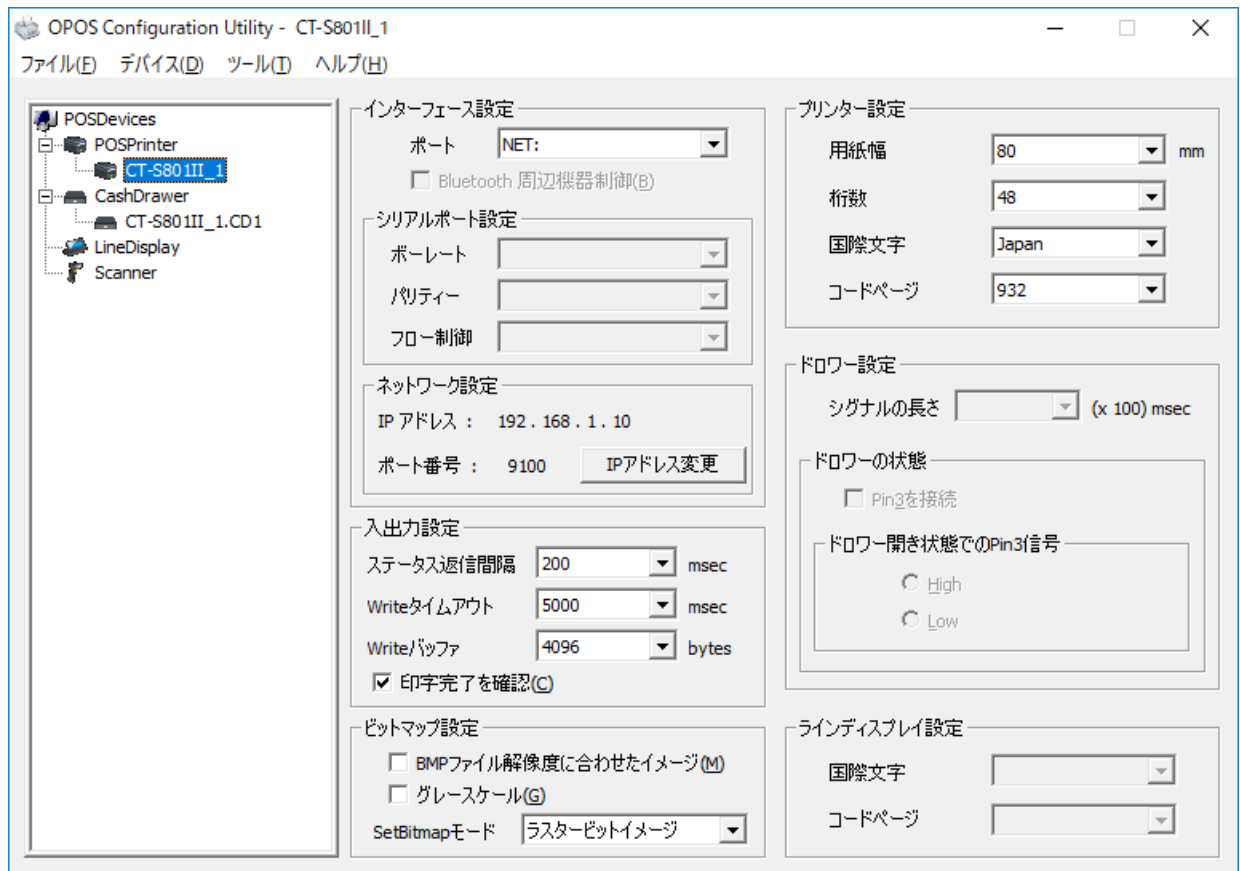
7) 「プリンターの設定の終了」のウィンドウが表示されます。

「完了」を押下してください。ここで、本ツールはシステムレジストリの登録処理を行います。

※ システムレジストリの登録処理が終了するまでにしばらく時間が掛かります



- 8) 本ウィザードが終了すると、「デバイスビュー」および「設定ビュー」に登録されたプリンターおよびキャッシュドローワー表示がされます。



※1 デバイスの登録後は、設定ビューより各項目の設定を直接変更することができます。

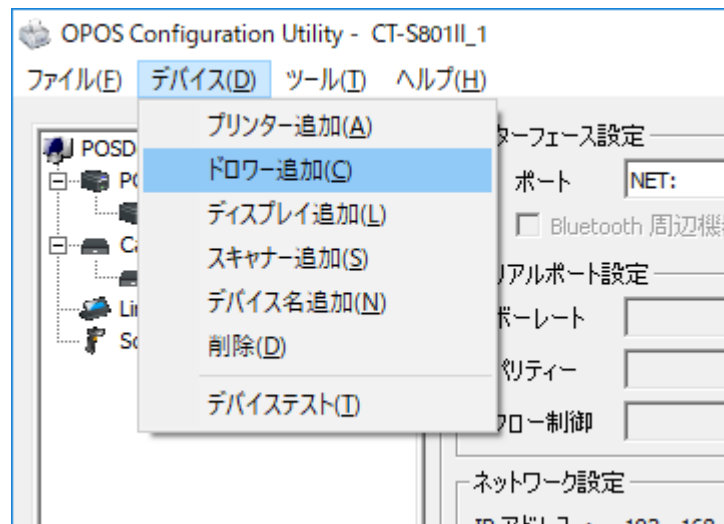
各項目の設定が変更される度に、システムレジストリに即時反映されます。

※2 「ネットワーク設定」の項目内の「IP アドレス」および「ポート番号」を変更の際は、「IP アドレス変更」を押して設定して下さい。

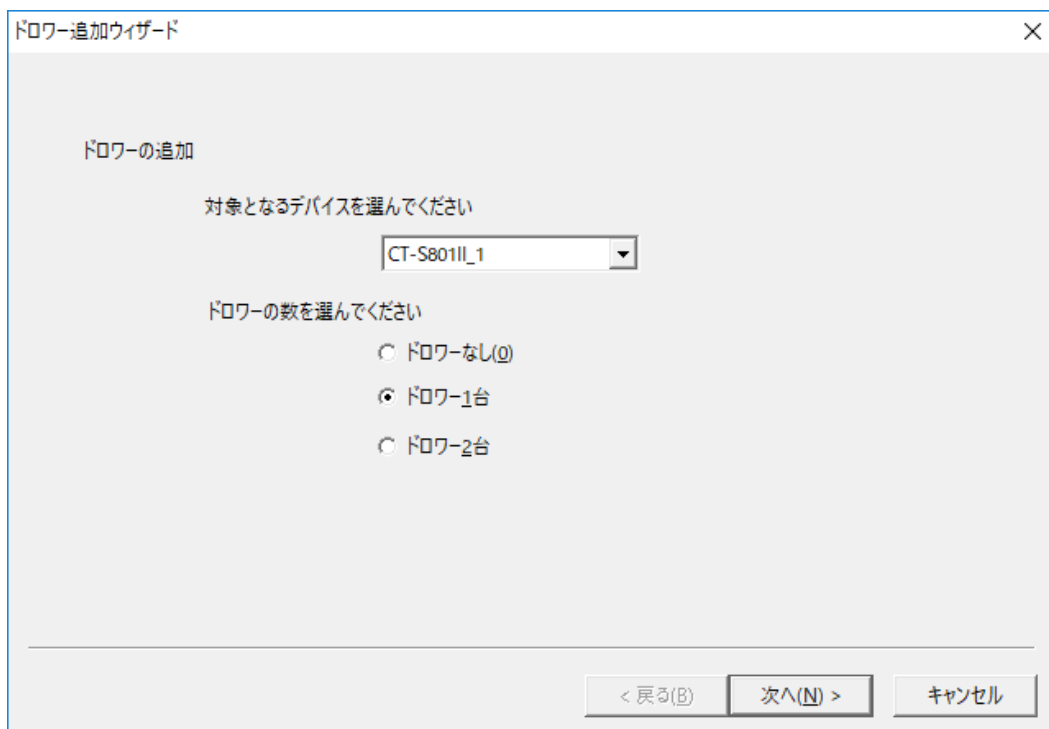
### 3.2. 新規キャッシュドロワーの追加

- 1) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー（いずれも同じメニューが表示されます）から「ドロワーの追加」を押下してください。

※ 必ずプリンターの登録を終わらせた後にキャッシュドロワーの追加を行ってください。



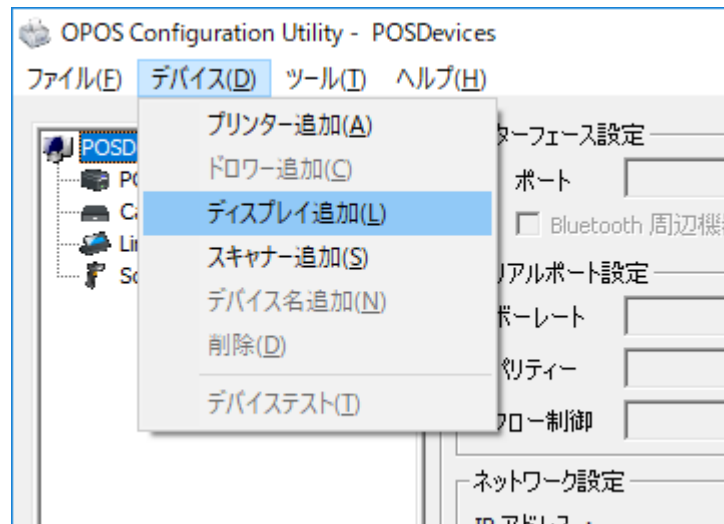
- 2) 「ドロワーの追加ウィザード」が起動します。



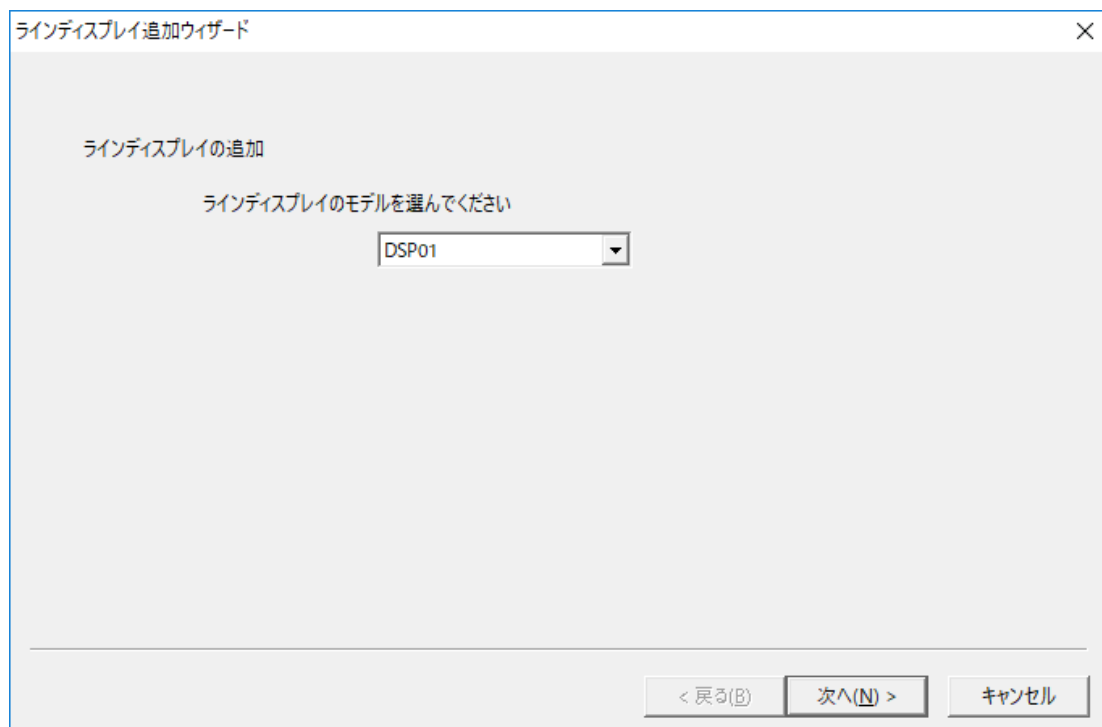
※ ここからは先は、「[3.1 新規プリンター・キャッシュドロワーの追加](#)」の章の「6）続いて「ドロワー追加ウィザード」が起動します」から先をご参照頂き、同様の手順でドロワーの追加作業を進めてください。

### 3.3. 新規ラインディスプレイの追加

- 1) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー(いずれも同じメニューが表示されます)から「ディスプレイ追加」を押下してください。



- 2) 「ラインディスプレイ追加ウィザード」が起動します。  
追加するラインディスプレイのモデルを選択し「次へ」を押下してください。  
(ここでは DSP01 を指定)



- 3) 「詳細設定」のウィンドウが表示されます。  
各項目の設定内容は以下の通りです。

### ステータス返信間隔

ラインディスプレイのステータス取得のポーリング間隔を設定します。

設定範囲: 100～2000msec

### Write タイムアウト

出力ポートに対する書き込みタイムアウト時間を設定します。

設定範囲: 5,000～1,000,000msec

### 国際文字

国際文字を指定します。

設定値: U.S.A / France / Germany / U.K. / Denmark I / Sweden / Italy / Spain I / Japan / Norway  
/ Denmark II / Spain II / Latin America / Korea / Slovenia/Croatia / China / Vietnam /  
Arabia / Russia

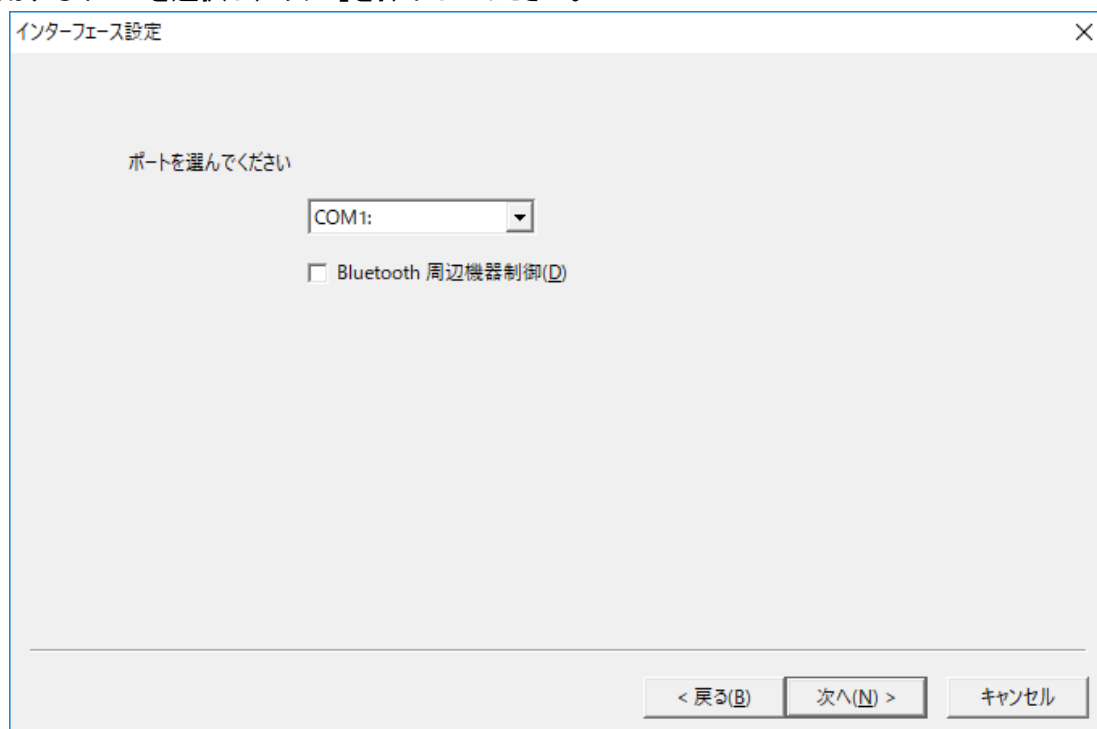
### コードページ

コードページを指定します。(機種により選択内容は変わります)

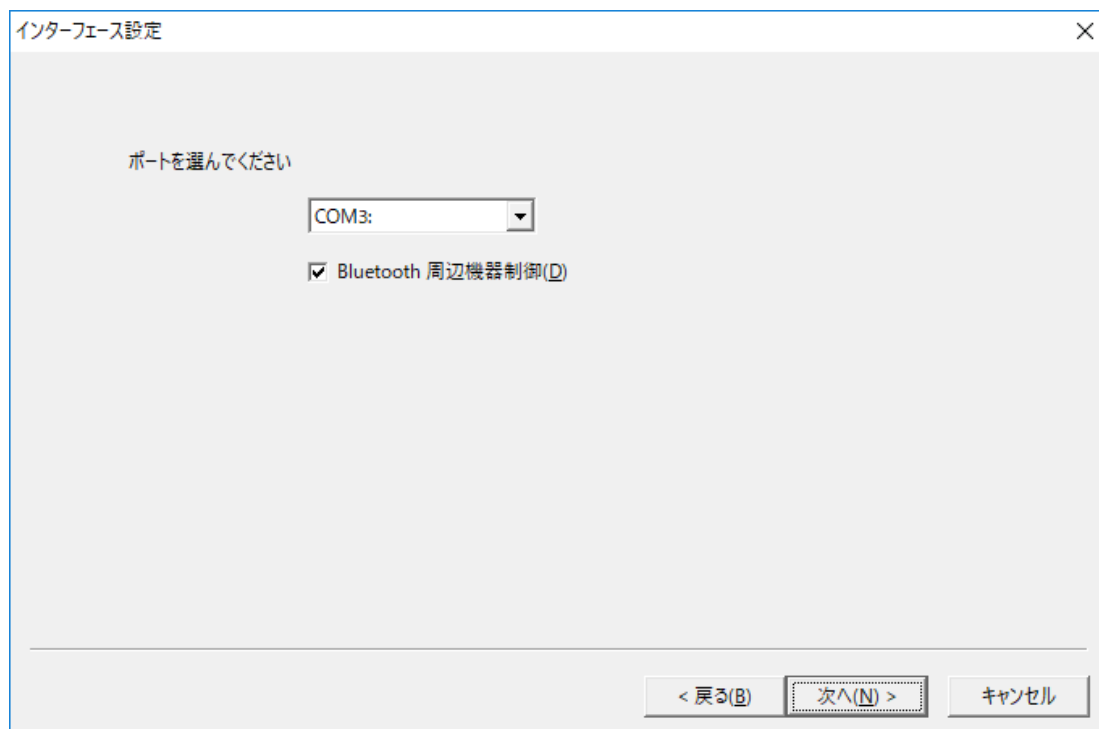
設定値: 437 / 720 / 737 / 775 / 850 / 851 / 852 / 853 / 855 / 857 / 858 / 860 / 861 / 862 / 863/  
864 / 865 / 866 / 869 / 874 / 932 / 936 / 949 / 950 / 1250 / 1251 / 1252 / 1253 / 1254  
1255 / 1256 / 1257 / 1258

上記設定後、「次へ」を押下してください。

- 4) 「インターフェース設定」のウィンドウが表示されます。  
使用するポートを選択し、「次へ」を押下してください。



IF2-BT03/04 経由でラインディスプレイを使用する場合のみ、Bluetooth 周辺機器制御をチェックしてください。それ以外の場合は、Bluetooth 周辺機器制御のチェックを外してください。



### COM ポート指定時

「シリアルポート設定」のウィンドウが表示されます。

「ボーレート」・「パリティ」・「フロー制御」を指定し、「次へ」を押下してください。

※ ラインディスプレイ側のデータ長は 8 ビットに設定して下さい。

※ ラインディスプレイ側と端末側のシリアルポート設定が同等でないと通信することができません。ラインディスプレイのシリアルポート設定についてはラインディスプレイの取扱説明書をご参照ください。



シリアルポート設定

ボーレート 9600 ▼

パリティ None ▼

フロー制御 DTR/DSR ▼

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル



## NET 指定時

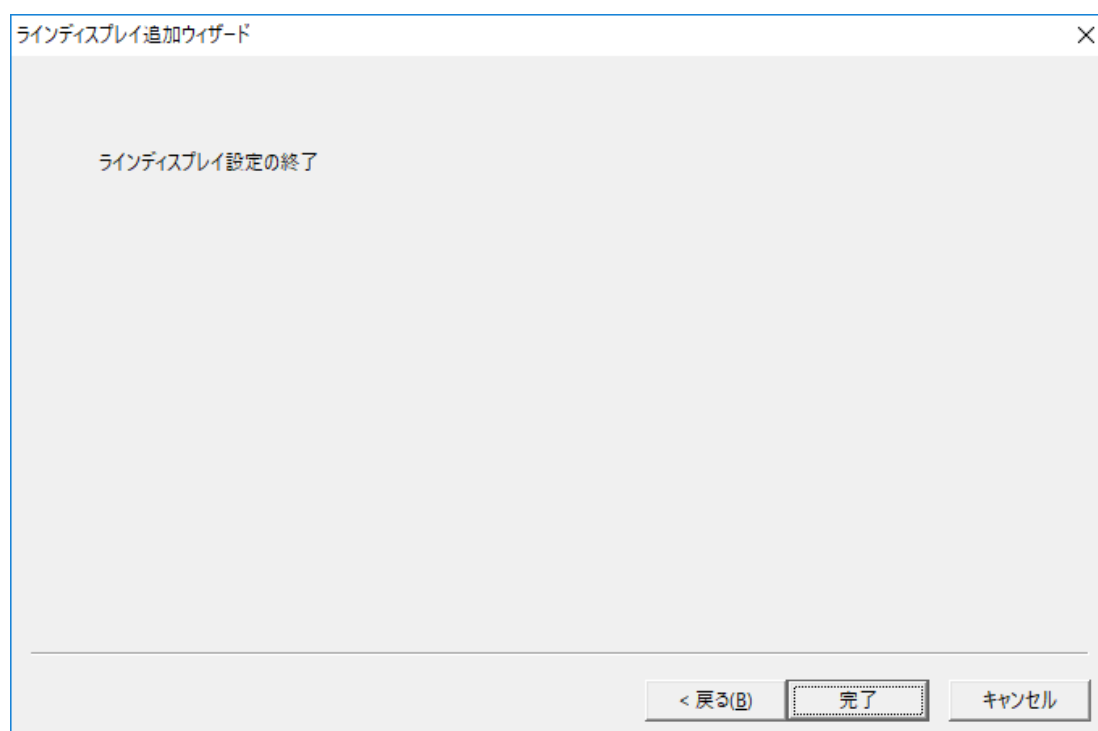
「ネットワーク設定」のウィンドウが表示されます。使用する「IP アドレス」・「ポート番号」を入力します。

※プリンターネットワーク設定の「ジョブ受信タイムアウト」設定の秒数を「180」に設定することを推奨します。

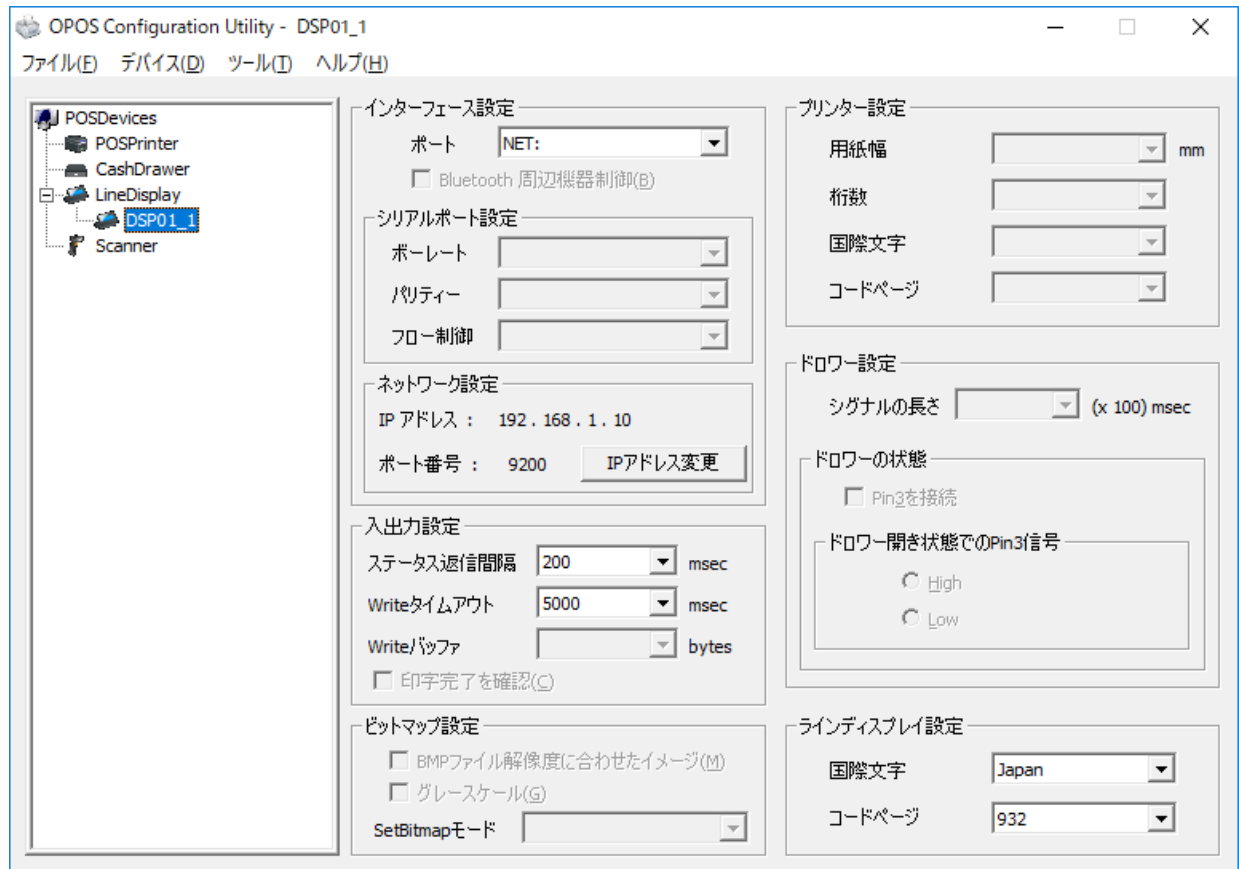
プリンターの設定については、[「3.8 ツールメニュー」](#)の章をご参照ください。

上記設定後、「次へ」を押下してください。

- 5) 「ラインディスプレイ設定の終了」のウィンドウが表示されます。  
「完了」を押下してください。ここで、本ツールはシステムレジストリの登録処理を行います。  
※ システムレジストリの登録処理が終了するまでにしばらく時間が掛かります



- 6) 本ウィザードが終了すると、「デバイスビュー」および「設定ビュー」に登録されたラインディスプレイが表示されます。



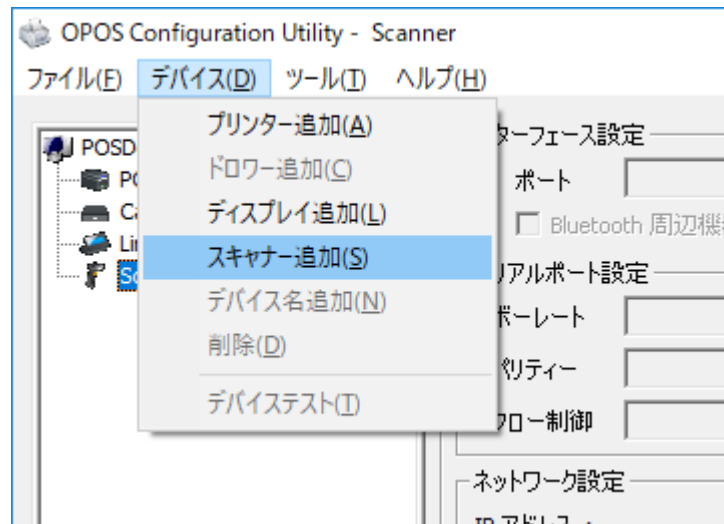
※1 デバイスの登録後は、設定ビューより各項目の設定を直接変更することができます。

各項目の設定が変更される度に、システムレジストリに即時反映されます。

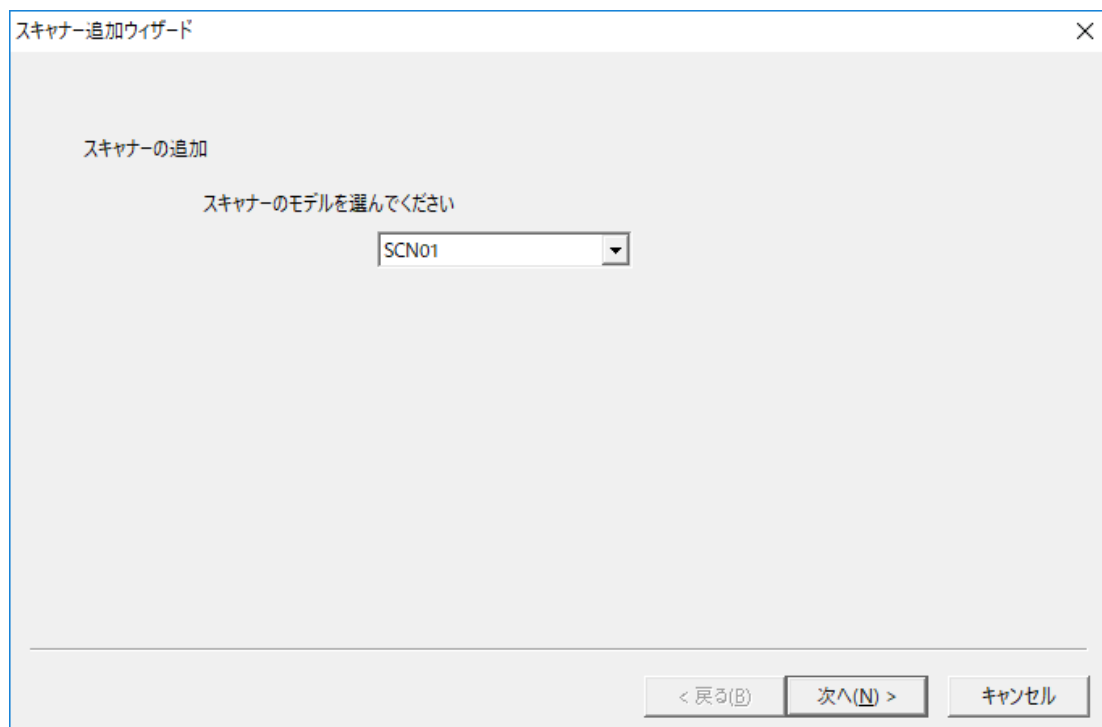
※2 「ネットワーク設定」の項目内の「IP アドレス」および「ポート番号」を変更の際は、「IP アドレス変更」を押して設定して下さい。

### 3.4. 新規バーコードスキャナーの追加

- 1) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー(いずれも同じメニューが表示されます)から「スキャナー追加」を押下してください。



- 2) 「スキャナー追加ウィザード」が起動します。  
追加するバーコードスキャナーのモデルを選択し「次へ」を押下してください。  
(ここでは SCN01 を指定)



- 3) 「詳細設定」のウィンドウが表示されます。  
各項目の設定内容は以下の通りです。



#### ステータス返信間隔

バーコードスキャナーのステータス取得のポーリング間隔を設定します。

設定範囲: 100～2000msec

#### Write タイムアウト

出力ポートに対する書き込みタイムアウト時間を設定します。

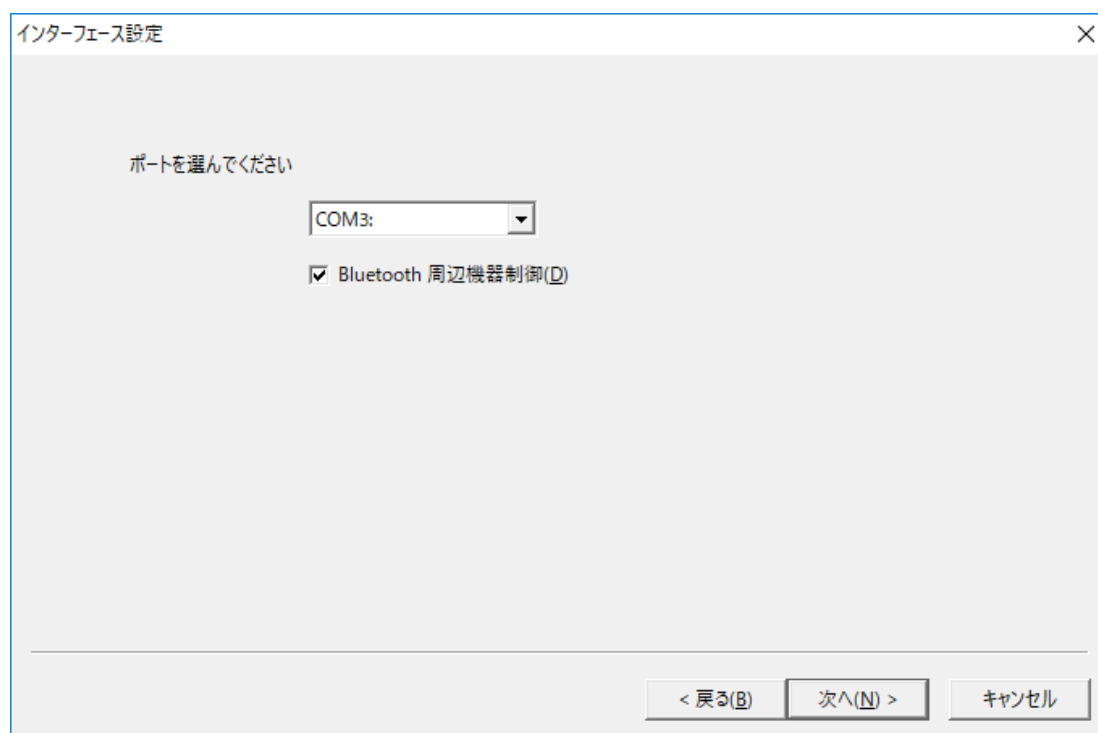
設定範囲: 5,000～1,000,000msec

上記設定後、「次へ」を押下してください。

- 4) 「インターフェース設定」のウィンドウが表示されます。  
使用するポートを選択し、「次へ」を押下してください。



IF2-BT03/04 経由でバーコードスキャナーを使用する場合のみ、Bluetooth 周辺機器制御をチェックしてください。それ以外の場合は、Bluetooth 周辺機器制御のチェックを外して下さい。



### COM ポート指定時

「シリアルポート設定」のウィンドウが表示されます。

「ボーレート」・「パリティ」・「フロー制御」を指定し、「次へ」を押下してください。

※ バーコードスキャナー側のデータ長は 8 ビットに設定して下さい。

※ バーコードスキャナー側と端末側のシリアルポート設定が同等でないと通信することができません。

バーコードスキャナーのシリアルポート設定についてはバーコードスキャナーの取扱説明書をご参照ください。

シリアルポート設定

ボーレート	9600
パリティ	None
フロー制御	DTR/DSR

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル

**NET 指定時**

「ネットワーク設定」のウィンドウが表示されます。使用する「IP アドレス」・「ポート番号」を入力します。  
※プリンターネットワーク設定の「ジョブ受信タイムアウト」設定の秒数を「180」に設定することを推奨します。プリンターの設定については、[「3.8 ツールメニュー」](#)の章をご参照ください。

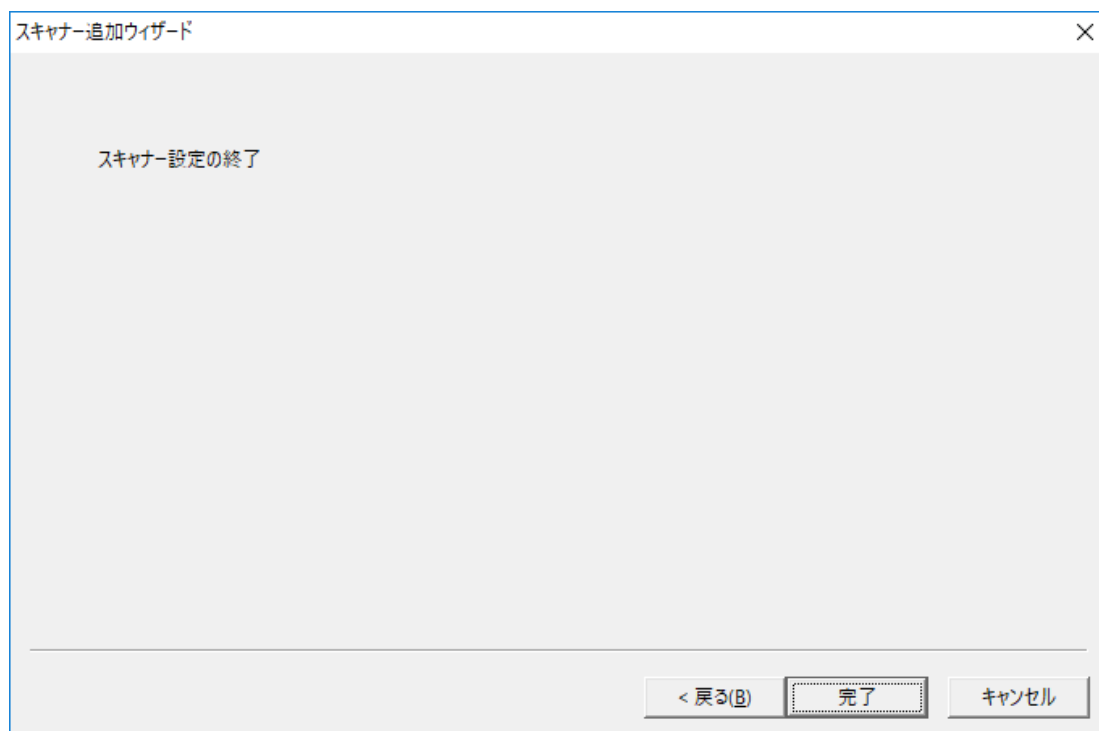
上記設定後、「次へ」を押下してください。



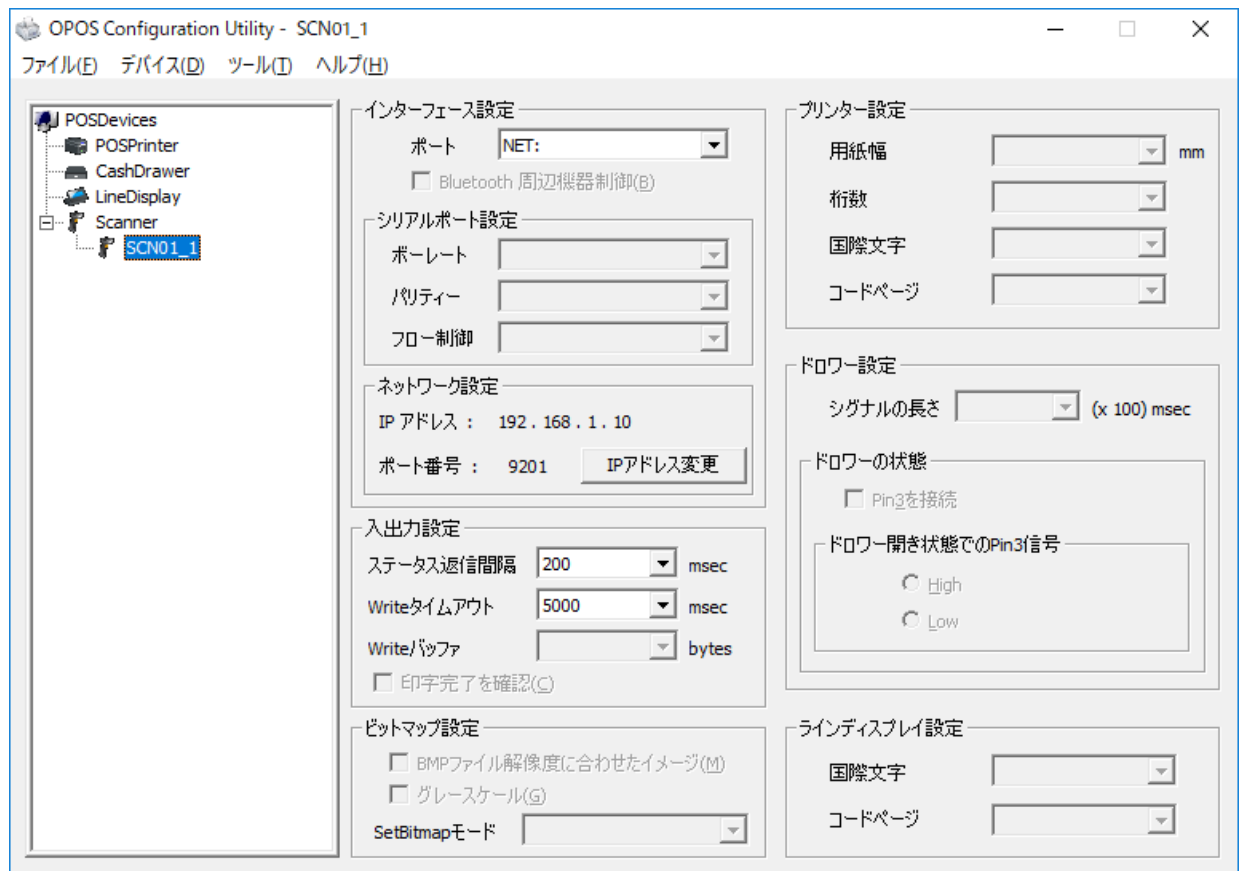
5) 「スキャナー設定の終了」のウィンドウが表示されます。

「完了」を押下してください。ここで、本ツールはシステムレジストリの登録処理を行います。

※ システムレジストリの登録処理が終了するまでにしばらく時間が掛かります



- 6) 本ウィザードが終了すると、「デバイスビュー」および「設定ビュー」に登録されたバーコードスキャナーが表示されます。



※1 デバイスの登録後は、設定ビューより各項目の設定を直接変更することができます。

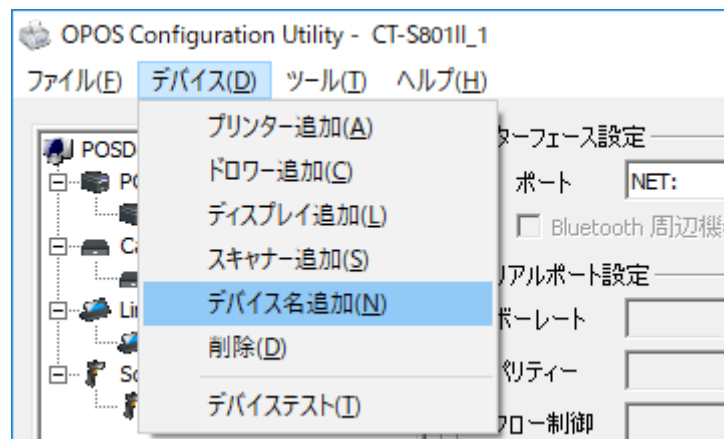
各項目の設定が変更される度に、システムレジストリに即時反映されます。

※2 「ネットワーク設定」の項目内の「IP アドレス」および「ポート番号」を変更の際は、「IP アドレス変更」を押して設定して下さい。

### 3.5. 論理デバイスの追加

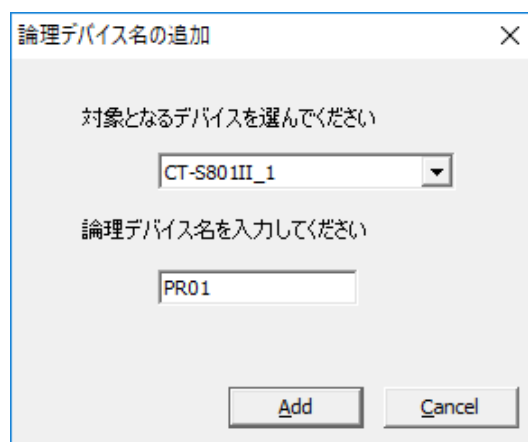
登録済みデバイスに対し、論理デバイス名を割り当てることができます。

- 1) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー（いずれも同じメニューが表示されます）から「論理デバイス名の追加」を押下してください。



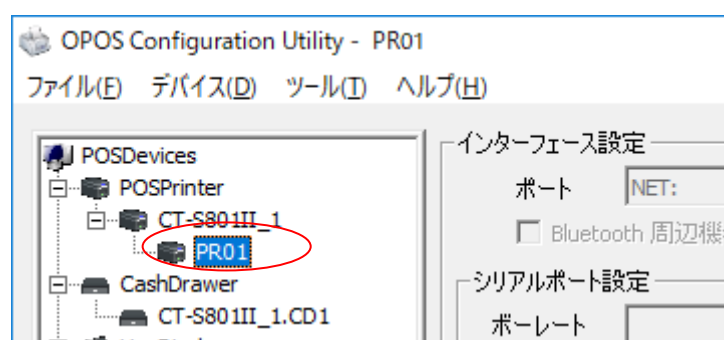
- 2) 「論理デバイス名の追加」のウィンドウが表示されます。

「対象となるデバイスを選んでください」のリストに登録済みのデバイスが列挙されます。対象となるデバイスを選択し、「論理デバイス名を入力してください」のテキストボックスに論理デバイス名を入力してください。



上記設定後、「追加」を押下してください。「キャンセル」を押下すると上記設定内容は破棄されます。

- 3) 上記作業終了後、追加された論理デバイス名がデバイスビューに表示されます。

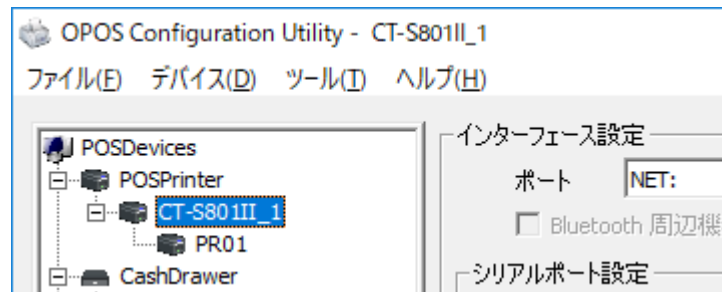


### 3.6. デバイスの削除

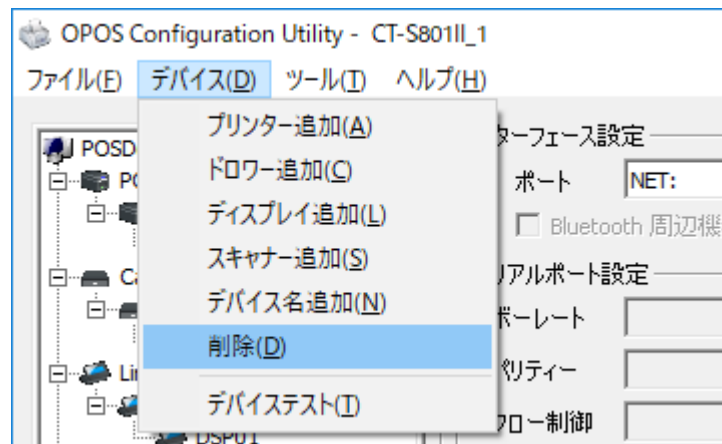
登録済みの物理デバイスの削除を行います。

#### プリンターの削除

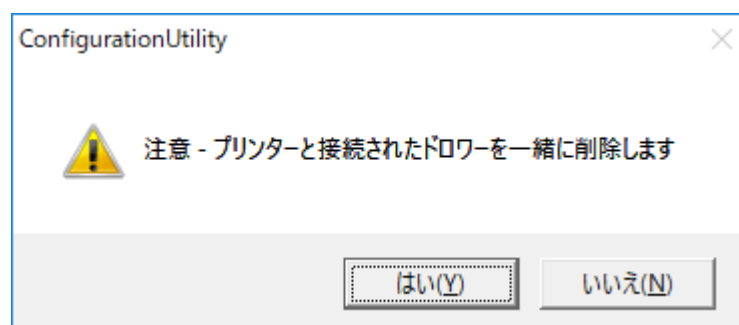
- 1) デバイスビューの「POSPrinter」の一覧より削除するプリンターを選択します。



- 2) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー（いずれも同じメニューが表示されます）から「削除」を押下してください。



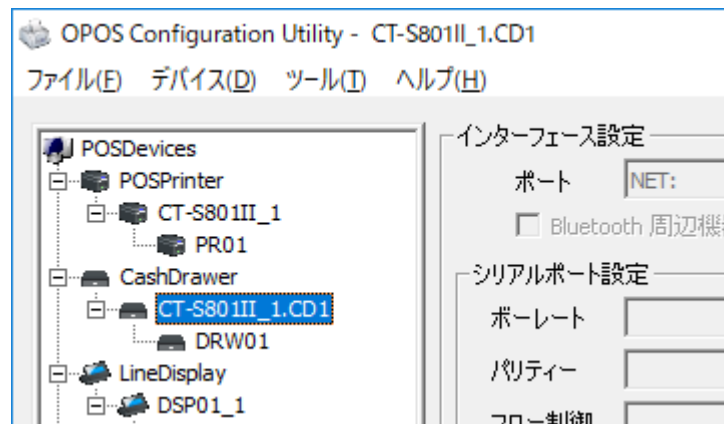
- 3) 「注意-プリンターと接続されたドロワーを一緒に削除します」のメッセージダイアログが表示されます。「はい(Y)」を押下してください。「いいえ(N)」を押下すると削除は破棄されます。



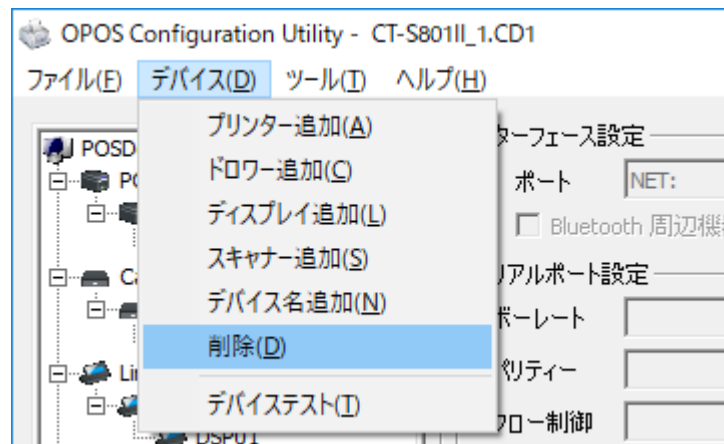
※ プリンターの削除を行うと、登録されたドロワーおよび論理デバイスの全てが削除されます

## キャッシュドロワーの削除

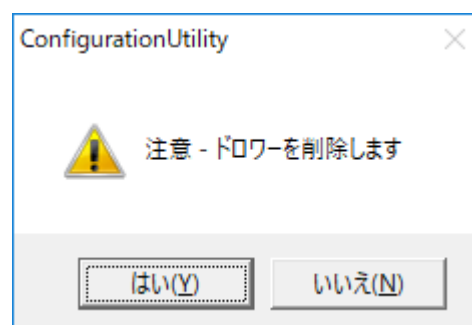
- 1) デバイスビューの「CashDrawer」の一覧より削除するキャッシュドロワーを選択します。



- 2) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー(いずれも同じメニューが表示されます)から「ドロワーの削除」を押下してください。



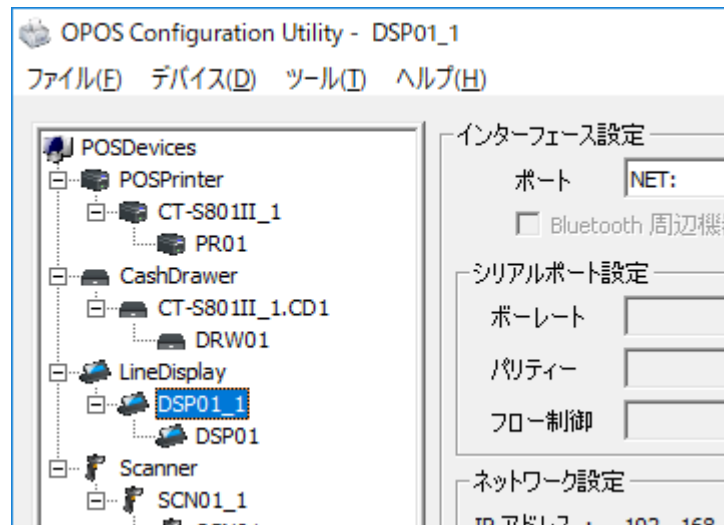
- 3) 「注意-ドロワーを削除します」のメッセージダイアログが表示されます。  
「はい(Y)」を押下してください。「いいえ(N)」を押下すると削除は破棄されます。



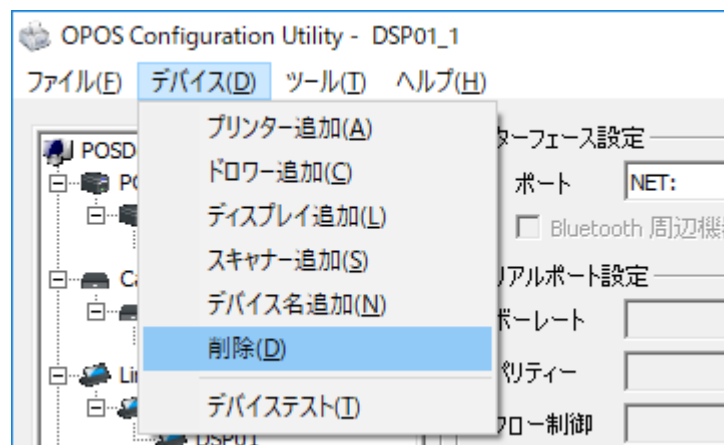
※ ドロワーの削除を行うと、論理デバイスも削除されます(プリンターは削除されません)

## ラインディスプレイの削除

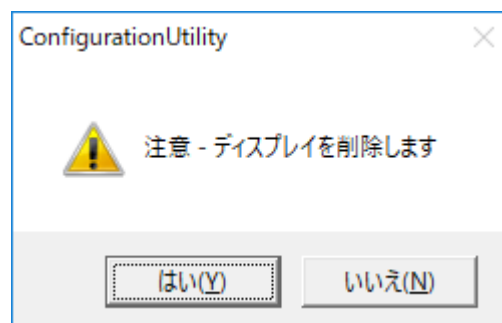
- 1) デバイスビューの「LineDisplay」の一覧より削除するラインディスプレイを選択します。



- 2) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー(いずれも同じメニューが表示されます)から「削除」を押下してください。



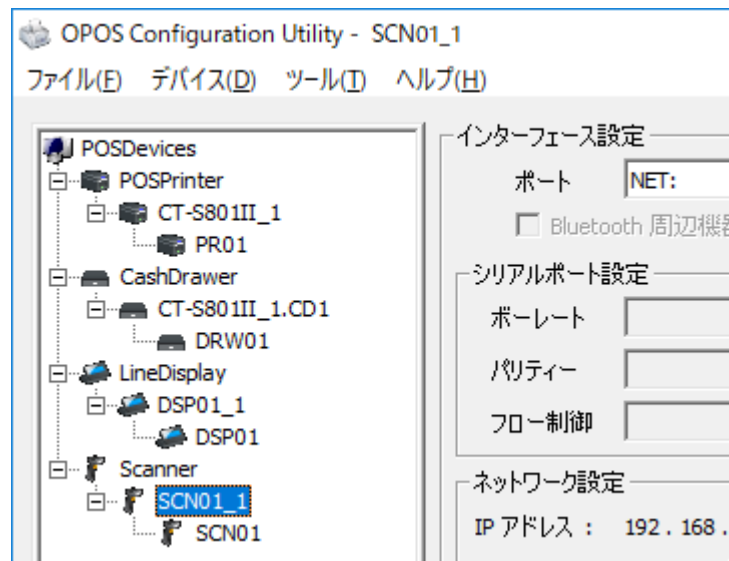
- 3) 「注意-ディスプレイを削除します」のメッセージダイアログが表示されます。  
「はい(Y)」を押下してください。「いいえ(N)」を押下すると削除は破棄されます。



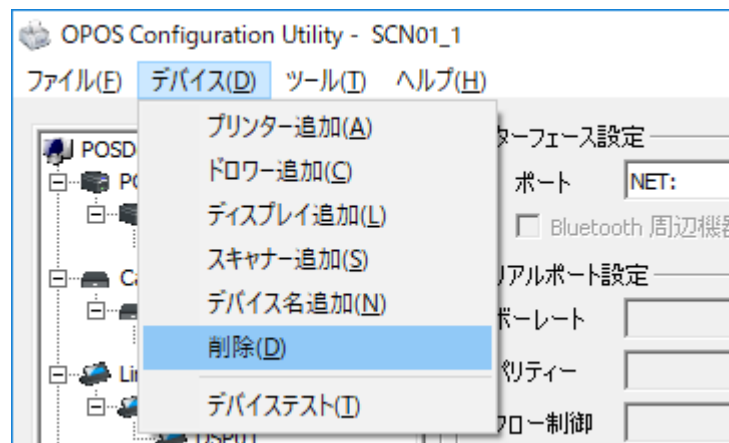
※ ラインディスプレイの削除を行うと、論理デバイスも削除されます。

## バーコードスキャナーの削除

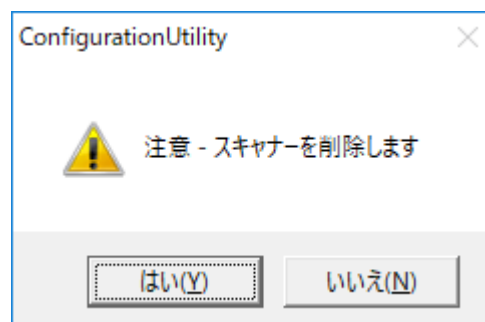
- 1) デバイスビューの「Scanner」の一覧より削除するバーコードスキャナーを選択します。



- 2) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー(いずれも同じメニューが表示されます)から「削除」を押下してください。



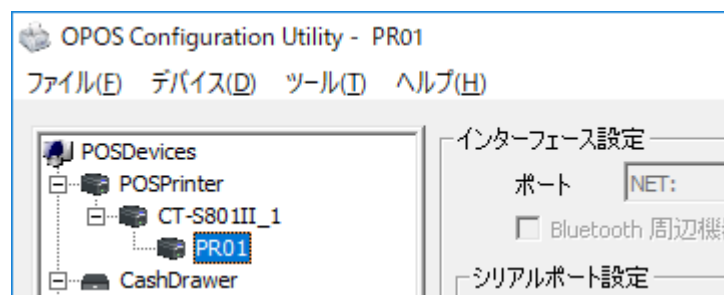
- 3) 「注意-スキャナーを削除します」のメッセージダイアログが表示されます。  
「はい(Y)」を押下してください。「いいえ(N)」を押下すると削除は破棄されます。



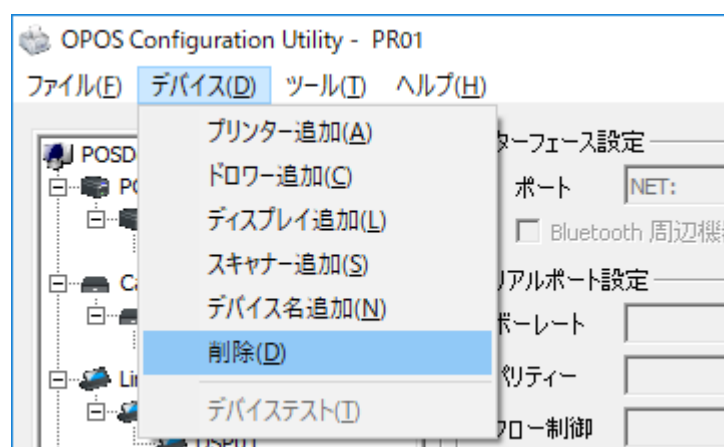
※ バーコードスキャナーの削除を行うと、論理デバイスも削除されます。

## 論理デバイス(プリンター)の削除

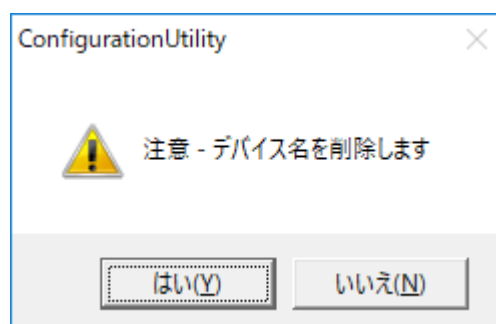
- 1) デバイスビューの「POSPrinter」の一覧より削除する論理デバイスを選択します。



- 2) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー(いずれも同じメニューが表示されます)から「デバイス名削除」を押下してください。



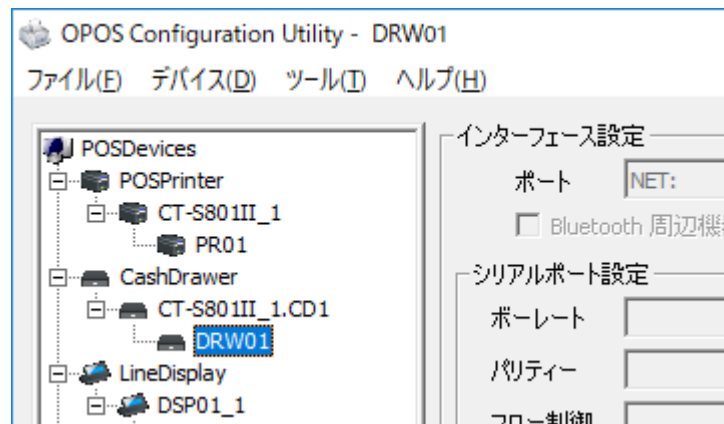
- 3) 「注意-デバイス名を削除します」のメッセージダイアログが表示されます。  
「はい(Y)」を押下してください。「いいえ(N)」を押下すると削除は破棄されます。



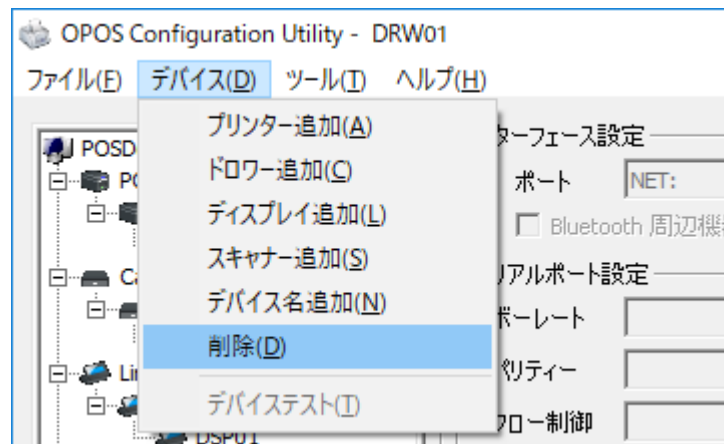


## 論理デバイス(キャッシュドロワー)の削除

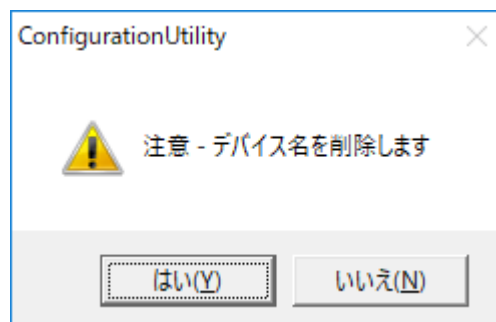
- 1) デバイスビューの「CashDrawer」の一覧より削除する論理デバイスを選択します。



- 2) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー(いずれも同じメニューが表示されます)から「デバイス名削除」を押下してください。

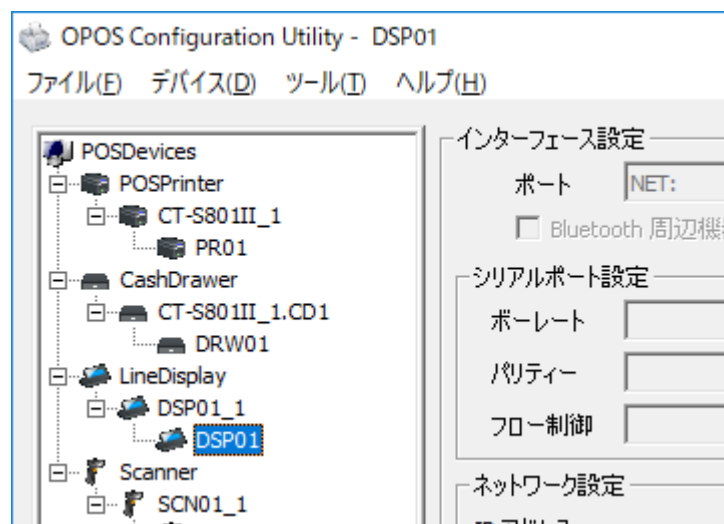


- 3) 「注意-デバイス名を削除します」のメッセージダイアログが表示されます。  
「はい(Y)」を押下してください。「いいえ(N)」を押下すると削除は破棄されます。

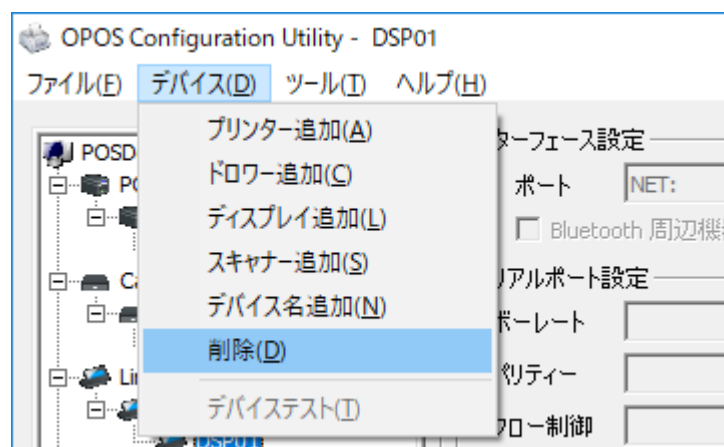


## 論理デバイス(ラインディスプレイ)の削除

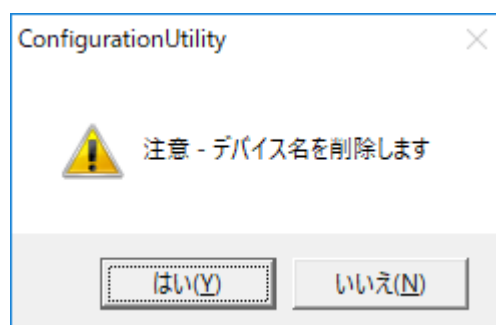
- 1) デバイスビューの「LineDisplay」の一覧より削除する論理デバイスを選択します。



- 2) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー(いずれも同じメニューが表示されます)から「デバイス名削除」を押下してください。

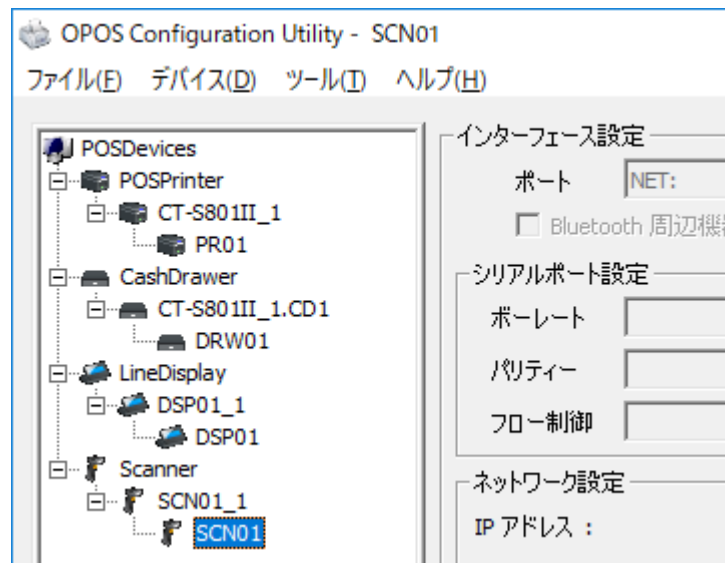


- 3) 「注意-デバイス名を削除します」のメッセージダイアログが表示されます。  
「はい(Y)」を押下してください。「いいえ(N)」を押下すると削除は破棄されます。

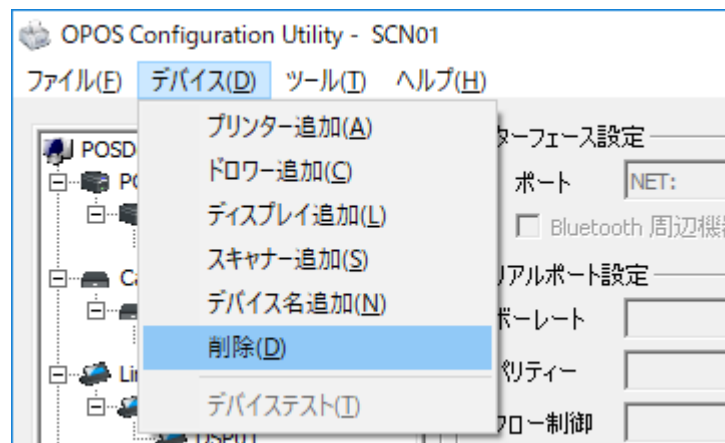


## 論理デバイス(バーコードスキャナー)の削除

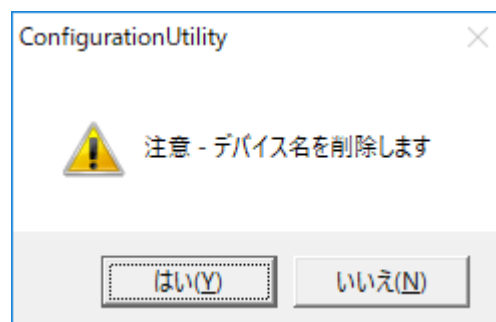
- 1) デバイスビューの「Scanner」の一覧より削除する論理デバイスを選択します。



- 2) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー(いずれも同じメニューが表示されます)から「デバイス名削除」を押下してください。



- 3) 「注意-デバイス名を削除します」のメッセージダイアログが表示されます。  
「はい(Y)」を押下してください。「いいえ(N)」を押下すると削除は破棄されます。

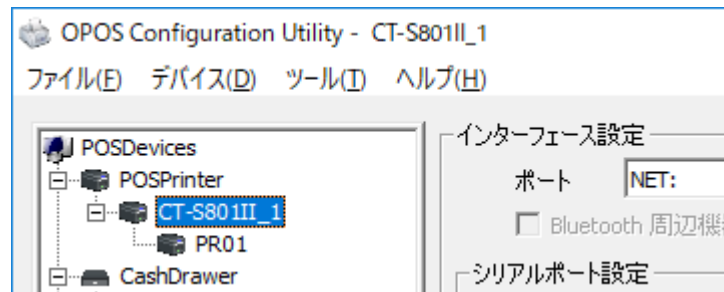


### 3.7. デバイスのテスト

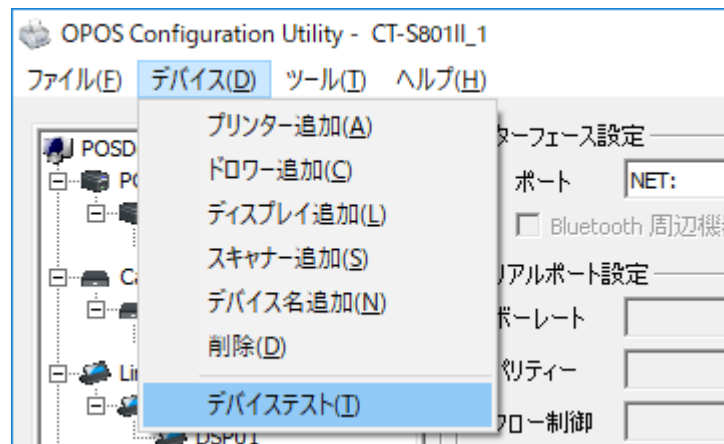
登録済みの物理デバイスの動作テストを行います。

#### プリンターのテスト

- 1) デバイスビューの「POSPrinter」の一覧より動作テストするプリンターを選択します。

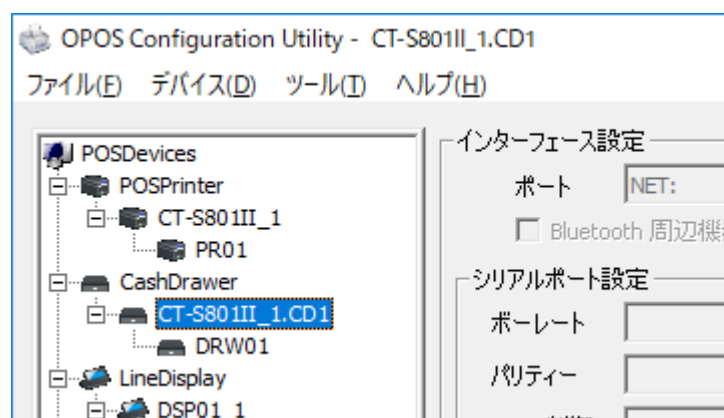


- 2) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー(いずれも同じメニューが表示されます)から「デバイステスト」を押下してください。

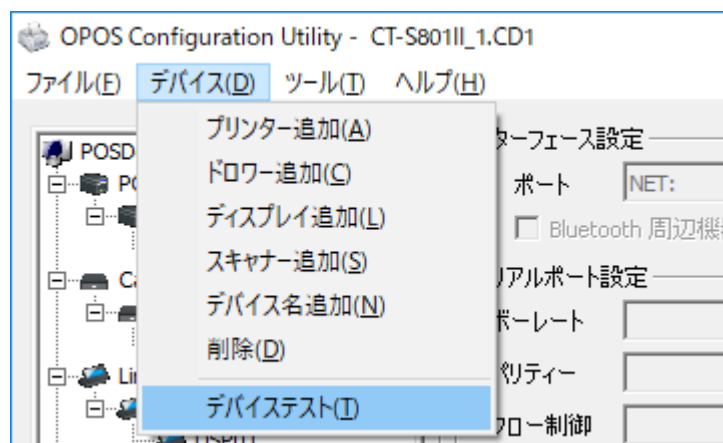


#### キャッシュドロワーのテスト

- 1) デバイスビューの「CashDrawer」の一覧より動作テストするキャッシュドロワーを選択します。

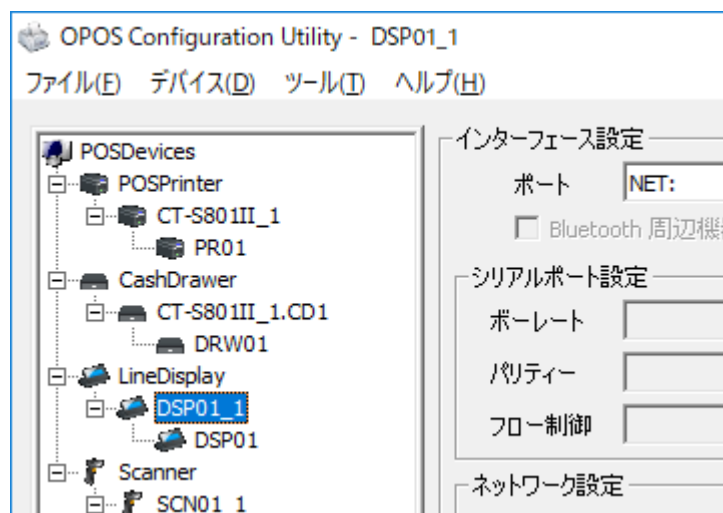


- 2) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー(いずれも同じメニューが表示されます)から「デバイステスト」を押下してください。

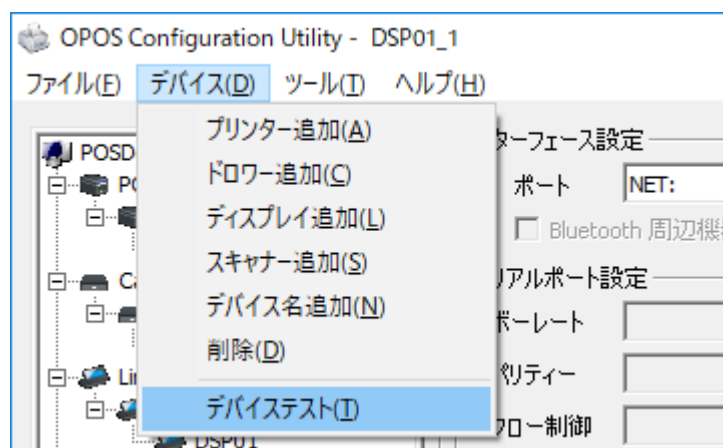


### ラインディスプレイのテスト

- 1) デバイスビューの「LineDisplay」の一覧より動作テストするラインディスプレイを選択します。

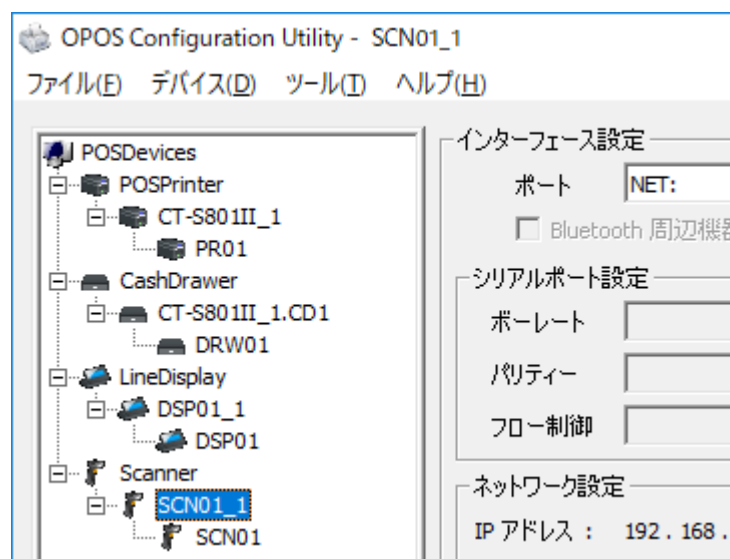


- 2) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー(いずれも同じメニューが表示されます)から「デバイステスト」を押下してください。

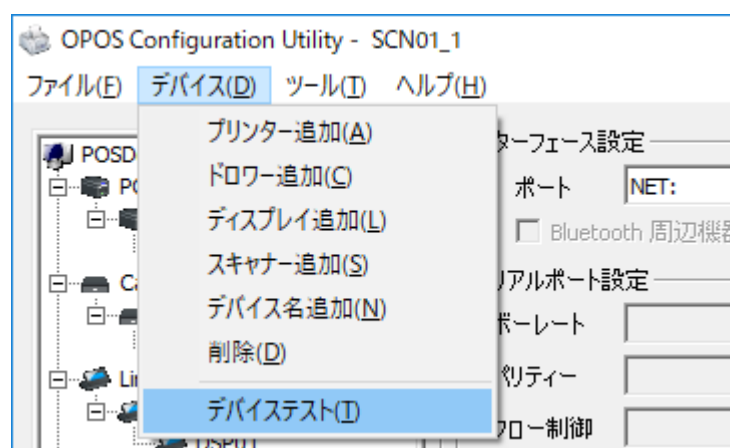


## バーコードスキャナーのテスト

- 1) デバイスビューの「Scanner」の一覧より動作テストするバーコードスキャナーを選択します。



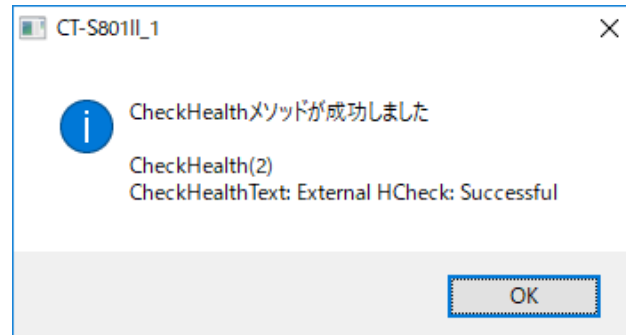
- 2) 「デバイス」メニューまたはデバイスビューを右クリックして表示されるメニュー(いずれも同じメニューが表示されます)から「デバイステスト」を押下してください。



## テスト結果

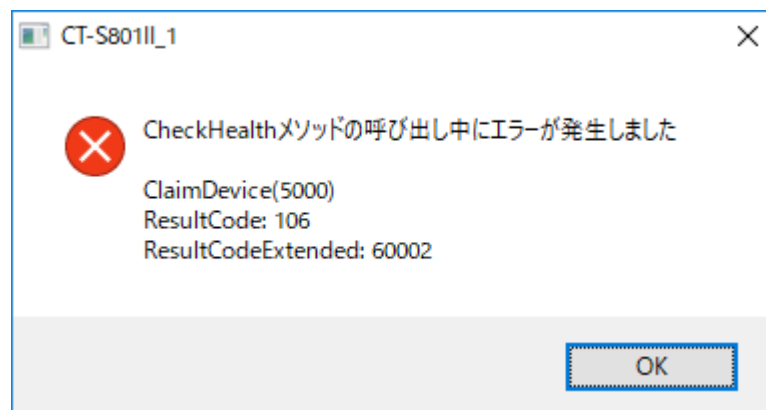
CheckHealth メソッドを正しく実行できた場合は、次のメッセージが表示されます。

※ プリンターをテストする場合、メソッドの実行に数秒かかります。その間、他の操作を行うことができません。



テスト時に何らかのエラーが発生した場合、下記のメッセージのように原因が表示されます。

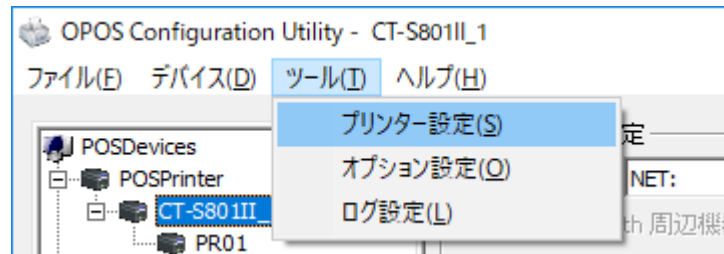
※ 下記の例はプリンターが接続されていない場合のメッセージで、ClaimDevice メソッドでエラーが発生しています。



### 3.8. ツールメニュー

#### プリンター設定

- 1) 「ツール」メニューより「プリンター設定」を押下してください。

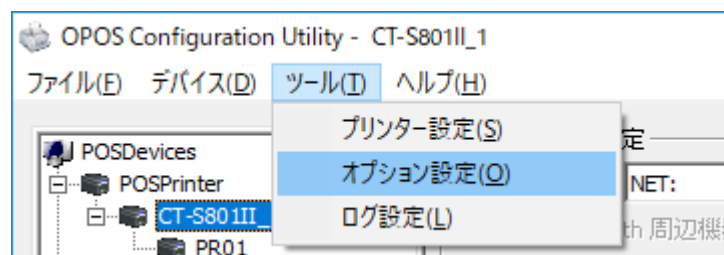


※ 「プリンター設定」を押下すると、POS プリンターユーティリティが起動します。本ツールの使用方法につきましては、本ツールに付属のマニュアルをご参照ください。

※ POS プリンターユーティリティは、[弊社ホームページ](#)のプリンター用ユーティリティソフトウェアの「POS プリンターユーティリティ」のリンクからダウンロードできます。

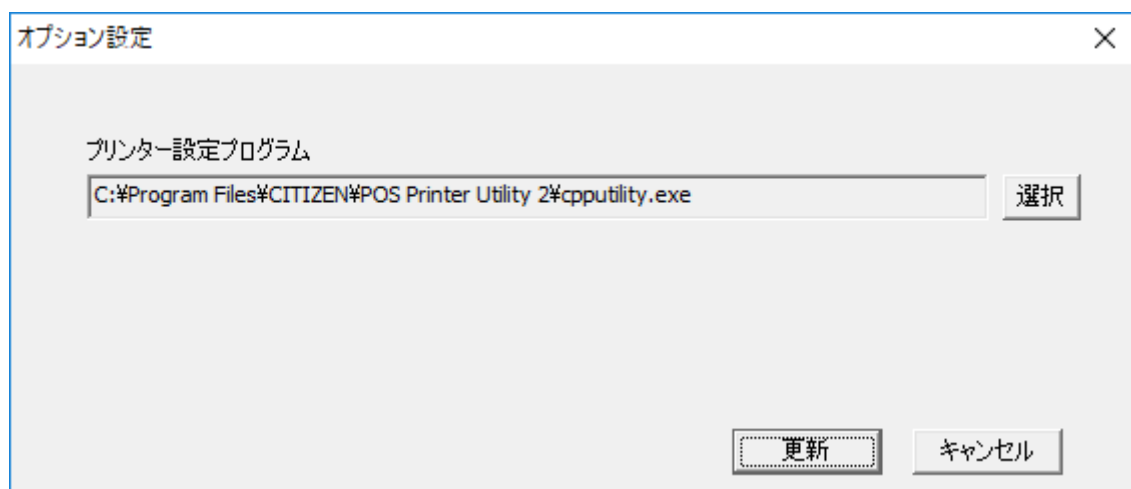
#### オプション設定

- 1) 「ツール」メニューより「オプション設定」を押下してください。



- 2) 「オプション設定」のダイアログが表示されます。

POS プリンターユーティリティをデフォルトディレクトリにインストールしなかった場合、この画面より指定することができます。

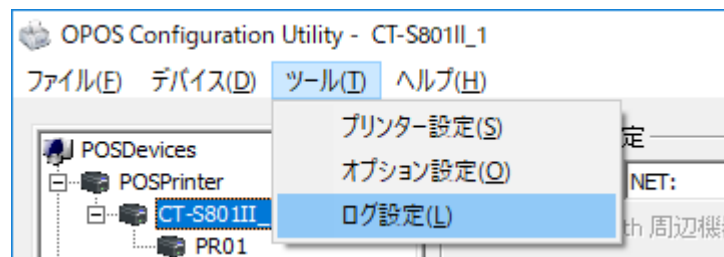


※ C:\Program Files\CITIZEN\POS Printer Utility 2\cpputility.exe は、OPOSドライバインストール時のデフォルト設定です。



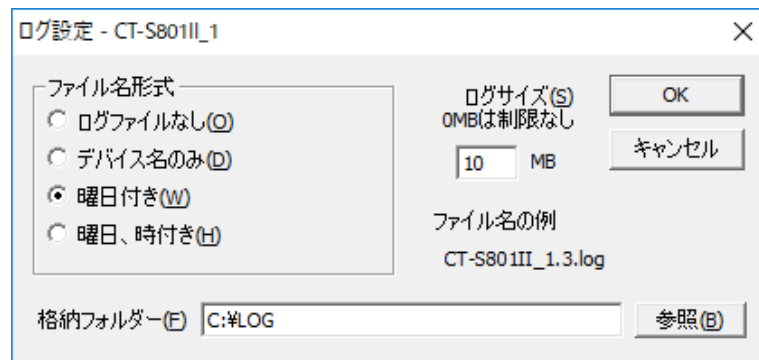
## ログ設定

- 1) デバイスビューの一覧よりログ設定するデバイスを選択してください。
- 2) 「ツール」メニューより「ログ設定」を押下してください。



- 3) 「ログ設定」ダイアログが表示されます。

このダイアログでは、ログファイルについての設定をすることができます。初期状態では「ログファイルなし」(ログファイルに記録しない)設定になっています。



### ファイル名形式

ログファイルを記録するときのファイル名の形式を選択します。

1. 「ログファイル無し」を選択しますと、ログファイルへの記録は行われません。また、後述します他の設定を修正することもできなくなります。
2. 「デバイス名のみ」を選択しますと、選択したデバイス名をファイル名とするログファイルに記録されます。
3. 「曜日付き」を選択しますと、デバイス名の後ろに曜日を表す数字が追加されたファイル名とするログファイルに記録されます。曜日は日曜日を0、月曜日を1として0から6のいずれかの数字が加えられます。
4. 「曜日、時付き」を選択しますと、「曜日付き」設定時の曜日数字の後ろに、記録時刻の“時”に相当する数字2桁(00~23)が加えられたファイル名とするログファイルに記録されます。

具体的なファイル名は、ダイアログ上の「ファイル名の例」を参照して下さい。

### ログサイズ

ログファイルの最大容量をMバイト単位で設定します。0を指定した場合は容量制限が解除され、可能な限り記録されます。

### 格納フォルダー

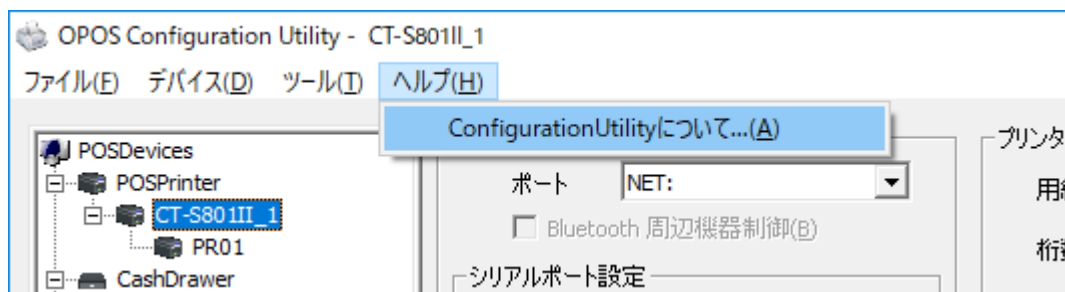
ログファイルを格納するフォルダーを指定します。格納先をフルパスで指定して下さい。右側にある参照ボタンをクリックしますと、フォルダー選択ダイアログを使用して格納先を選ぶことができます。

本設定の詳細については、本製品のアプリケーション開発ガイドをご参照ください。

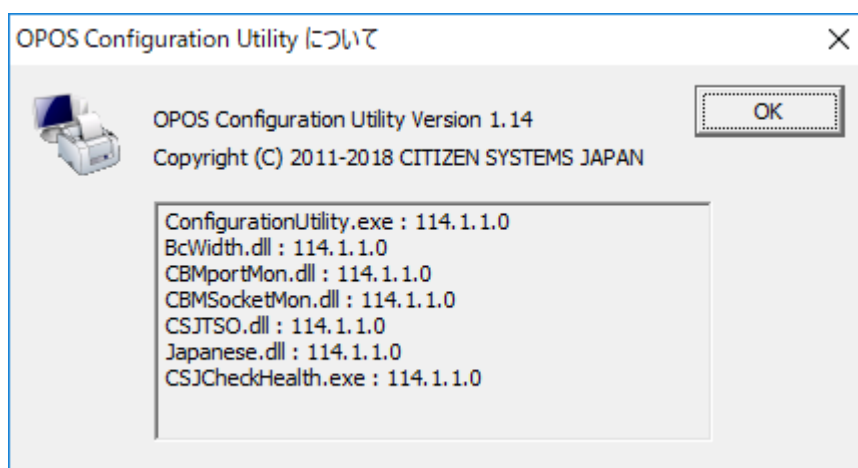
### 3.9. ヘルプメニュー

#### Version 情報

- 1) 「ヘルプ」メニューより「Configuration Utility について...」を押下してください。



- 2) 「OPOS Configuration Utility について」のダイアログが表示されます。  
OPOS Driver / OPOS Configuration Utility の詳細 Version 情報を参照する事ができます。



## 4. プリンター設定

本製品をご使用になる際は、プリンターのディップスイッチおよびメモリスイッチの一部が以下の通りに設定されていることが条件となります。各スイッチの切り替え方法および設定内容の詳細につきましては、各モデルの取扱説明書をご参照ください。

### 4.1. CT-E301 系

#### メモリスイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	－
1-2	インプットバッファ	4K bytes	－
1-3	Busy 条件	バッファフル	－
1-4	受信エラー文字	? 文字	－
1-5	CR モード	無効	－
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	－
2-2	オートカッター動作	有効	－
2-4	フル桁印字	データ待ち	－
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	－
3-7	CBM1000 互換モード	有効	－
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	－
4-8	強制パーシャル	無効	－
5-2	縦基本計算ピッチ	360	－
6-1	ドライバ用動作	有効	－
7-6	DMA 制御	有効	－
8-4	行間圧縮	無効	－
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	－
9-1	コードページ	Katakana	－
9-2	国際文字	日本	－
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	－

## 4.2. CT-E601 系

### メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッター動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバ用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	-
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	-

### 4.3. CT-S251 系

#### メモリッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	－
1-2	インプットバッファ	4K bytes	－
1-3	Busy 条件	バッファフル	－
1-4	受信エラー文字	? 文字	－
1-5	CR モード	無効	－
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	－
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	－
2-2	オートカッター動作	有効	－
2-4	フル桁印字	データ待ち	－
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	－
3-7	CBM1000 互換モード	有効	－
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	－
4-8	強制パーシャル	無効	－
5-2	縦基本計算ピッチ	360	－
6-1	ドライバ用動作	有効	－
7-6	DMA 制御	有効	－
8-4	行間圧縮	無効	－
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	－
9-1	コードページ	Katakana	－
9-2	国際文字	日本	－
9-3	漢字	有効	－
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS(CP932)	－
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	－

## 4.4. CT-S253 系

### メモリッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッター動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバ用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	-

## 4.5. CT-S255 系

### メモリータッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	－
1-2	インプットバッファ	4K bytes	－
1-3	Busy 条件	バッファフル	－
1-4	受信エラー文字	? 文字	－
1-5	CR モード	無効	－
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	－
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	－
2-2	オートカッター動作	有効	－
2-4	フル桁印字	データ待ち	－
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	－
3-7	CBM1000 互換モード	有効	－
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	－
4-8	強制パーシャル	無効	－
5-2	縦基本計算ピッチ	360	－
6-1	ドライバ用動作	有効	－
7-6	DMA 制御	有効	－
8-4	行間圧縮	無効	－
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	－
9-1	コードページ	Katakana	－
9-2	国際文字	日本	－
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	－
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	－

## 4.6. CT-S257 系

### メモリータッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	－
1-2	インプットバッファ	4K bytes	－
1-3	Busy 条件	バッファフル	－
1-4	受信エラー文字	? 文字	－
1-5	CR モード	無効	－
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	－
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	－
2-2	オートカッター動作	有効	－
2-4	フル桁印字	データ待ち	－
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	－
3-7	CBM1000 互換モード	有効	－
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	－
4-8	強制パーシャル	無効	－
5-2	縦基本計算ピッチ	360	－
6-1	ドライバ用動作	有効	－
7-6	DMA 制御	有効	－
8-4	行間圧縮	無効	－
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	－
9-1	コードページ	Katakana	－
9-2	国際文字	日本	－
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	－
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	－



## 4.7. CT-S281 系

### ディップスイッチ設定

DSW No.	機能	設定	設定内容
8	INIT (シリアル I/F 使用時)	OFF	無効

### メモリータッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	－
1-2	インプットバッファ	4K bytes	－
1-3	Busy 条件	バッファフル	－
1-4	受信エラー文字	? 文字	－
1-5	CR モード	無効	－
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	－
2-2	オートカッター動作	有効	－
2-4	フル桁印字	データ待ち	－
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	－
3-7	CBM-270 互換モード	有効	－
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	－
4-8	強制パーシャル	無効	－
9-1	コードページ	Katakana	－
9-2	国際文字	日本	－
9-3	漢字	有効	－
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS	－
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	－

## 4.8. CT-S281II 系

### ディップスイッチ設定

DSW No.	機能	設定	設定内容
8	INIT (シリアル I/F 使用時)	OFF	無効

### メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	－
1-2	インプットバッファ	4K bytes	－
1-3	Busy 条件	バッファフル	－
1-4	受信エラー文字	? 文字	－
1-5	CR モード	無効	－
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	－
2-2	オートカッター動作	有効	－
2-4	フル桁印字	データ待ち	－
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	－
3-7	CBM-270 互換モード	有効	－
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	－
4-8	強制パーシャル	無効	－
6-1	ドライバ用動作	有効	－
9-1	コードページ	Katakana	－
9-2	国際文字	日本	－
9-3	漢字	有効	－
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS	－

f

## 4.9. CT-S401 系

### メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッター動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-3	漢字	有効	-
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS	-

## 4.10.CT-S601/651/801/851 系

ディップスイッチ設定

DSW No.	機能	設定	設定内容
8	INIT (シリアル I/F 使用時)	OFF	無効

メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッター動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	-
3-2	PNE 時 PE 出力	無効	-
3-3	パラレル 31Pin (USB・パラレル I/F 使用時)	リセット	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバ用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-3	漢字	有効	-
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS	-
10-3	ACK 出力タイミング (USB・パラレル I/F 使用時)	BUSY 前	-

## 4.11.CT-S601II/651II/801II/851II 系

ディップスイッチ設定

DSW No.	機能	設定	設定内容
8	INIT (シリアル I/F 使用時)	OFF	無効

メモリースwitch設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッター動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	-
3-2	PNE 時 PE 出力 (パラレル I/F 使用時)	無効	-
3-3	パラレル 31Pin (USB・パラレル I/F 使用時)	リセット	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバ用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	-
10-3	ACK 出力タイミング (USB・パラレル I/F 使用時)	BUSY 前	-
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	-

## 4.12.CT-S801III/851III 系

ディップスイッチ設定

DSW No.	機能	設定	設定内容
8	INIT (シリアル I/F 使用時)	OFF	無効

メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッター動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	-
3-2	PNE 時 PE 出力 (パラレル I/F 使用時)	無効	-
3-3	パラレル 31Pin (USB・パラレル I/F 使用時)	リセット	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバ用動作	有効	-
7-6	DMA 制御	有効	-
8-4	行間圧縮	無効	-
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	-
10-3	ACK 出力タイミング (USB・パラレル I/F 使用時)	BUSY 前	-
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	-

## 4.13.CT-S2000 系

ディップスイッチ設定

DSW No.	機能	設定	設定内容
8	INIT (シリアル I/F 使用時)	OFF	無効

メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッター動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	-
3-3	パラレル 31Pin (USB・パラレル I/F 使用時)	リセット	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
7-6	DMA 制御	有効	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-3	漢字	有効	-
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS	-
10-3	ACK 出力タイミング (USB・パラレル I/F 使用時)	BUSY 前	-

## 4.14. CT-S4000 系

ディップスイッチ設定

DSW No.	機能	設定	設定内容
8	INIT (シリアル I/F 使用時)	OFF	無効

メモリイッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	－
1-2	インプットバッファ	4K bytes	－
1-3	Busy 条件	バッファフル	－
1-4	受信エラー文字	? 文字	－
1-5	CR モード	無効	－
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	－
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	－
2-2	オートカッター動作	有効	－
2-4	フル桁印字	データ待ち	－
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	－
3-3	パラレル 31Pin (USB・パラレル I/F 使用時)	リセット	－
3-7	CBM1000 互換モード	有効	－
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	－
4-8	強制パーシャル	無効	－
5-2	縦基本計算ピッチ	360	－
5-5	電源 OFF 通知	無効	－
7-6	DMA 制御	有効	－
9-1	コードページ	Katakana	－
9-2	国際文字	日本	－
9-3	漢字	有効	－
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS	－
10-3	ACK 出力タイミング (USB・パラレル I/F 使用時)	BUSY 前	－



## 4.15. CT-S4500 系

メモリータッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	－
1-2	インプットバッファ	4K bytes	－
1-3	Busy 条件	バッファフル	－
1-4	受信エラー文字	? 文字	－
1-5	CR モード	無効	－
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	－
1-8	INIT 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	－
2-2	オートカッター動作	有効	－
2-4	フル桁印字	データ待ち	－
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	－
3-7	CBM1000 互換モード	有効	－
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	－
4-8	強制パーシャル	無効	－
5-2	縦基本計算ピッチ	360	－
6-1	ドライバ用動作	有効	－
7-6	DMA 制御	有効	－
8-4	行間圧縮	無効	－
8-5	文字縮小 縦/横	100% / 100%	－
9-1	コードページ	Katakana	－
9-2	国際文字	日本	－
9-4	漢字コード	SJIS:CP932(日本)	－
13-6	再接続要求 (Bluetooth I/F 使用時)	無効	－

## 4.16. PMU3300 系

メモリッチ設定

MSW No.	機能	設定	設定内容
1-1	電源 ON 通知設定	有効	-
1-2	インプットバッファ	4K bytes	-
1-3	Busy 条件	バッファフル	-
1-4	受信エラー文字	? 文字	-
1-5	CR モード	無効	-
1-7	DSR 信号選択 (シリアル I/F 使用時)	無効	-
2-2	オートカッター動作	有効	-
2-4	フル桁印字	データ待ち	-
3-1	オートカッター復帰	L/F 有効	-
3-7	CBM1000 互換モード	有効	-
3-8	印字中カバーオープン	自動復帰	-
4-8	強制パーシャル	無効	-
5-2	縦基本計算ピッチ	360	-
6-1	ドライバ用動作	有効	-
9-1	コードページ	Katakana	-
9-2	国際文字	日本	-
9-4	JIS/シフト JIS	シフト JIS	-

## 5. バーコードスキャナー設定

バーコードスキャナーを使用する場合、バーコードスキャナーを OPOS 仕様に設定する必要があります。


### 5.1. SCNO1-Z1D

下記のバーコードを上から順番に全てスキャンし、設定を変更してください。

	設定開始
	USB VCOM に変更する
	工場出荷の識別コード表を有効にする
	設定終了

### 5.2. SCNO1-Z2D

下記のバーコードをスキャンし、設定を変更してください。

	OPOS モードに設定する
---	---------------

### 5.3. BC-NL3000U

下記のバーコードを上から順番に全てスキャンし、設定を変更してください。

 0006010	設定開始
 1100060	USB VCOM に変更する
 0006000	設定終了

CITIZEN OPOS DRIVER 1.14 セットアップガイド

2025/2/5 Ver.1.14.1.9 用

シチズン・システムズ株式会社

<https://csj.citizen.co.jp/>